

関連データ

図1 親の子どもに対するしつけの度合い（国民生活白書（平成19年版））（内閣府「国民生活選好度調査」（平成19年）回答者は全国15歳以上80歳未満の者）

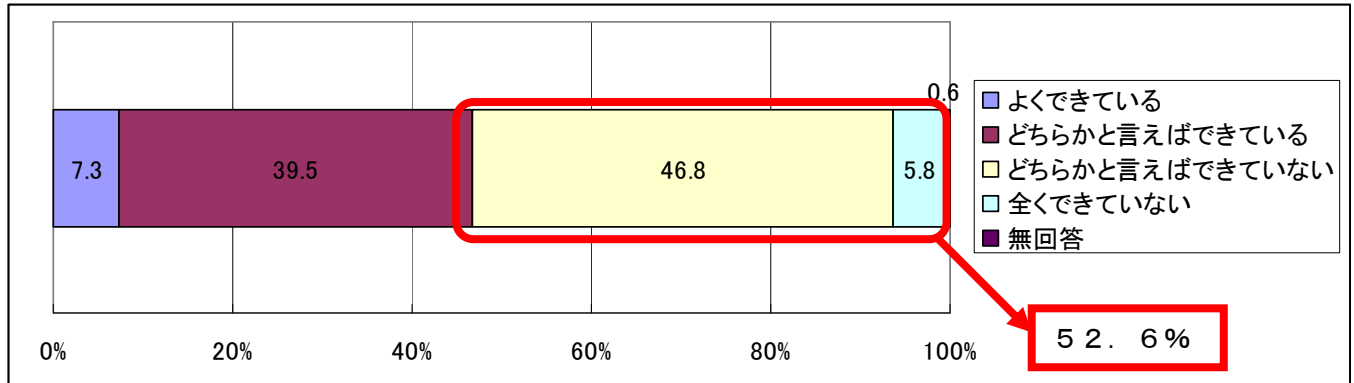


図2 しつけがきちんとできていないと思う理由（国民生活白書（平成19年版））（内閣府「国民生活選好度調査」（平成19年）回答者は全国15歳以上80歳未満の者）

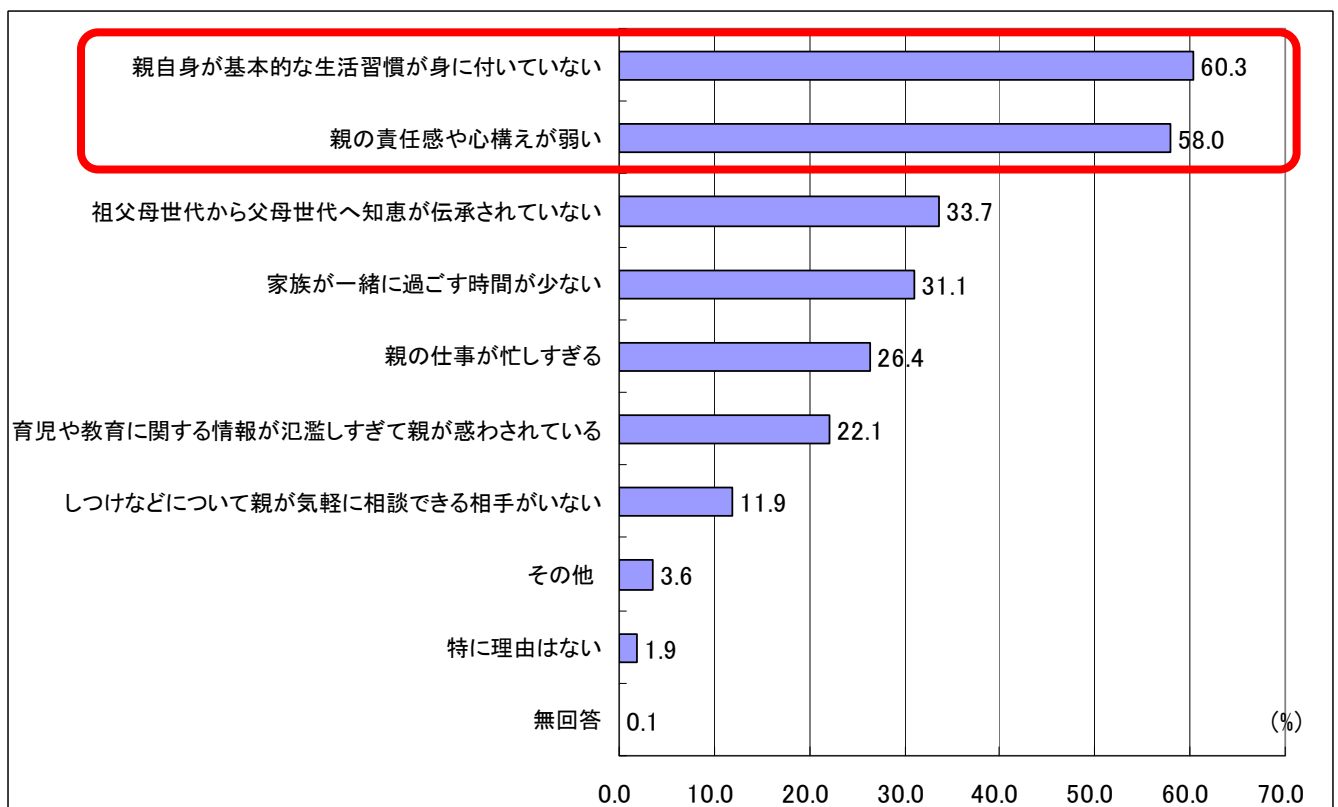


図3 10年前と比較した地域のつながりの強さ（国民生活白書（平成19年版））（内閣府「国民生活選好度調査」（平成19年）回答者は全国15歳以上80歳未満）

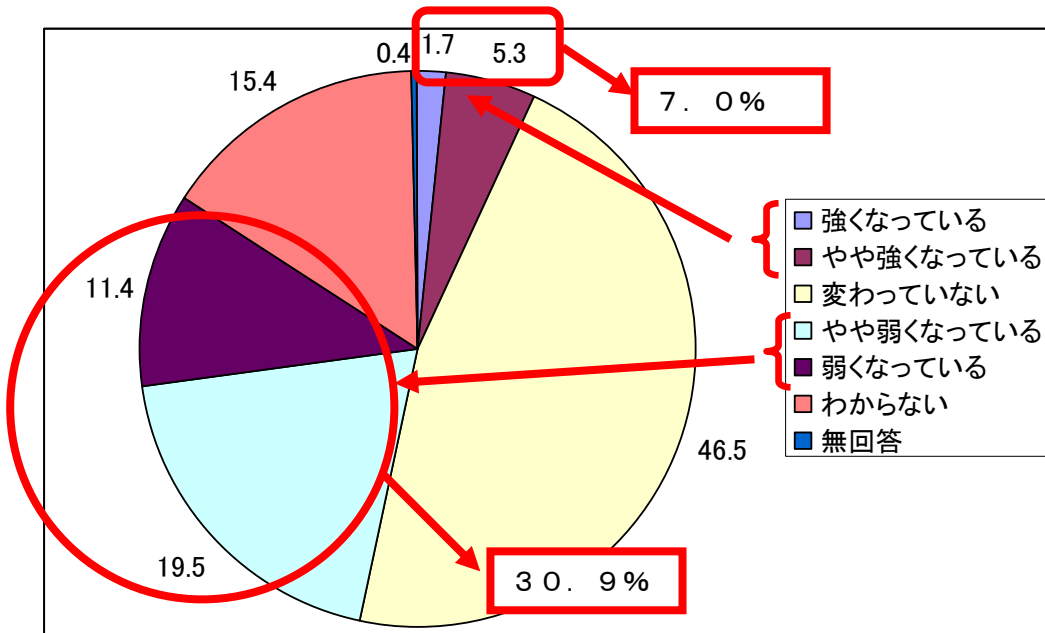


図4 地域のつながりが弱くなった理由（国民生活白書（平成19年版））（内閣府「国民生活選好度調査」（平成19年）回答者は全国15歳以上80歳未満）

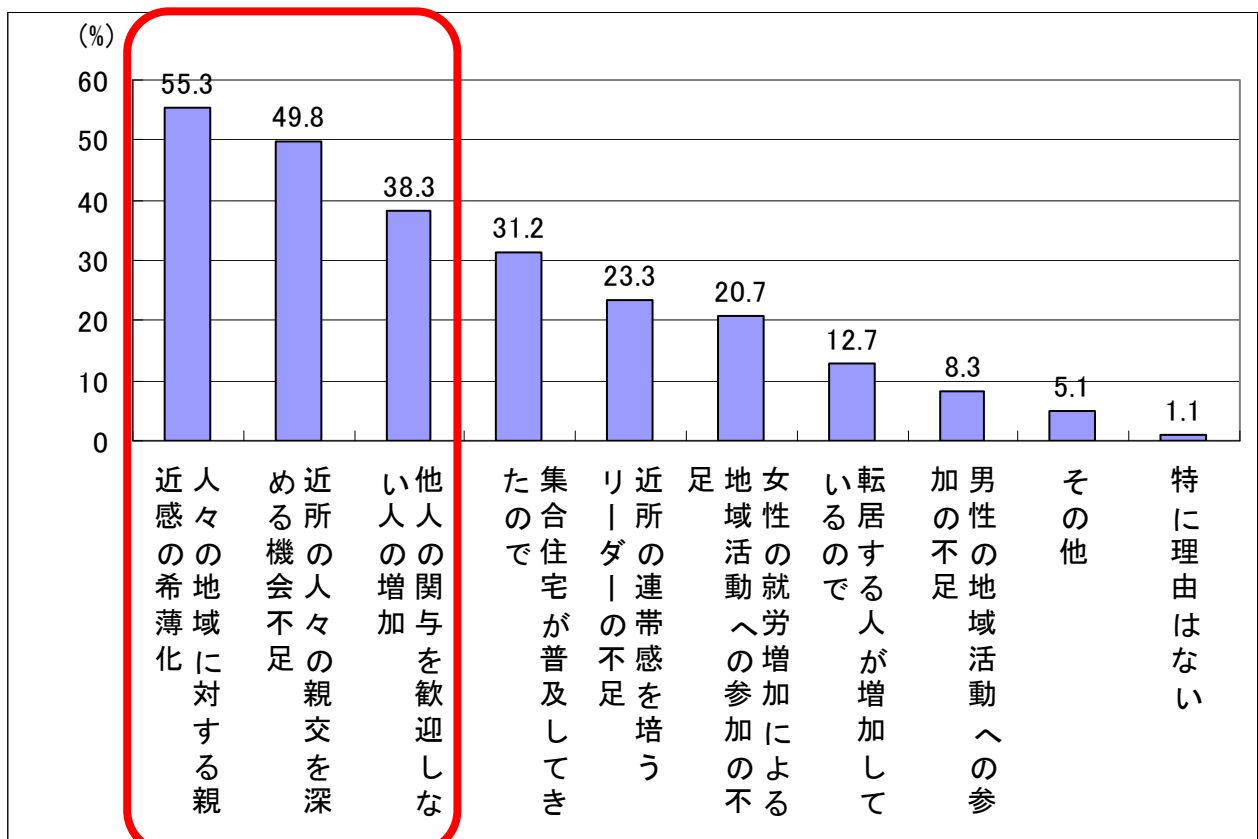


図5 国民（県民）一人ひとりの人権意識は、10年前に比べて高くなっていると思いますか。
 （人権に関する県民意識調査（人権同和対策室））

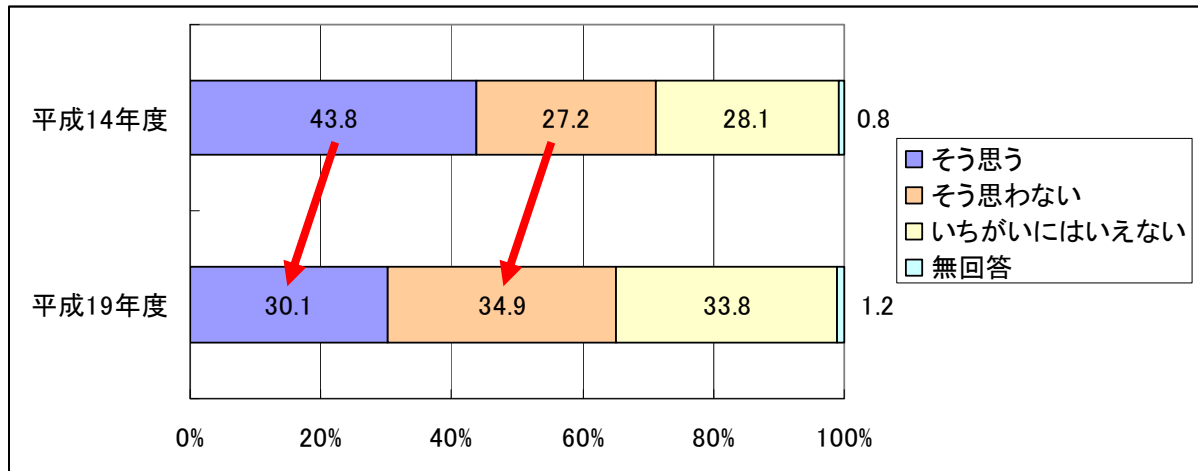


図6 IT関連機器等の普及率の推移（国民生活白書（平成19年版））（内閣府「消費動向調査」
 総務省「通信利用動向調査」により作成）

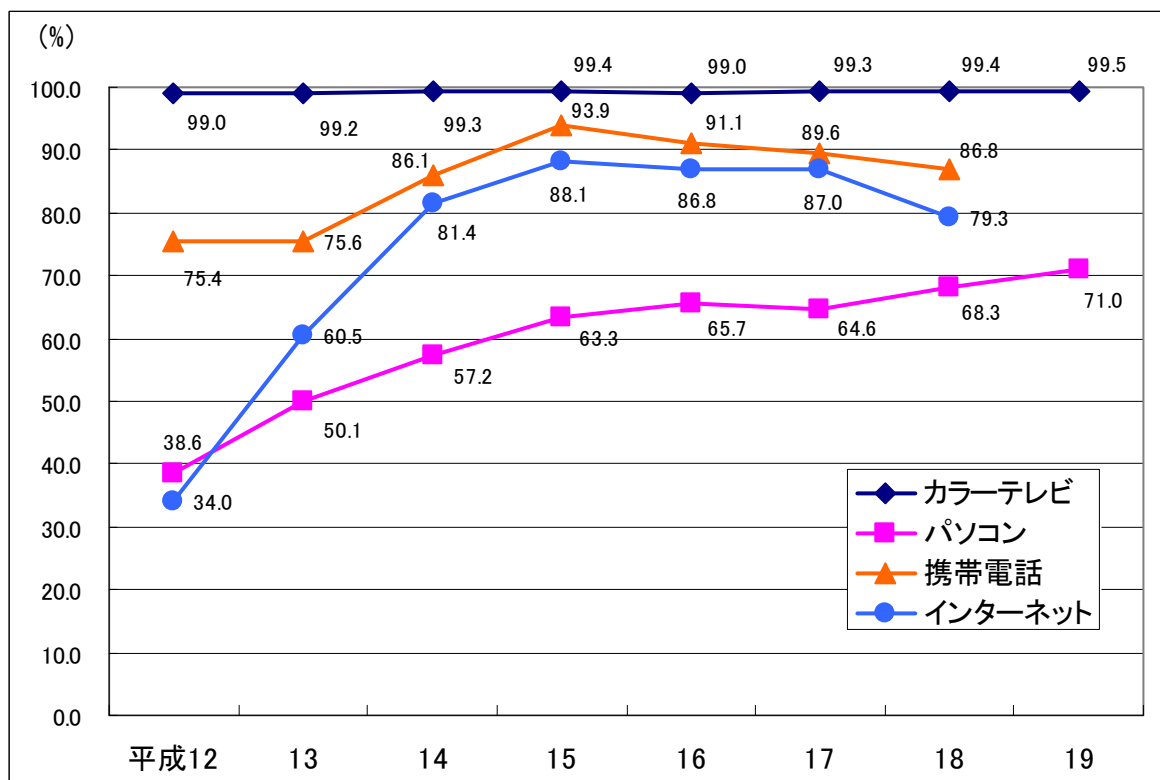


図7 携帯電話の所有率（子どもの携帯電話等の利用に関する調査（文部科学省：平成20年度調査））

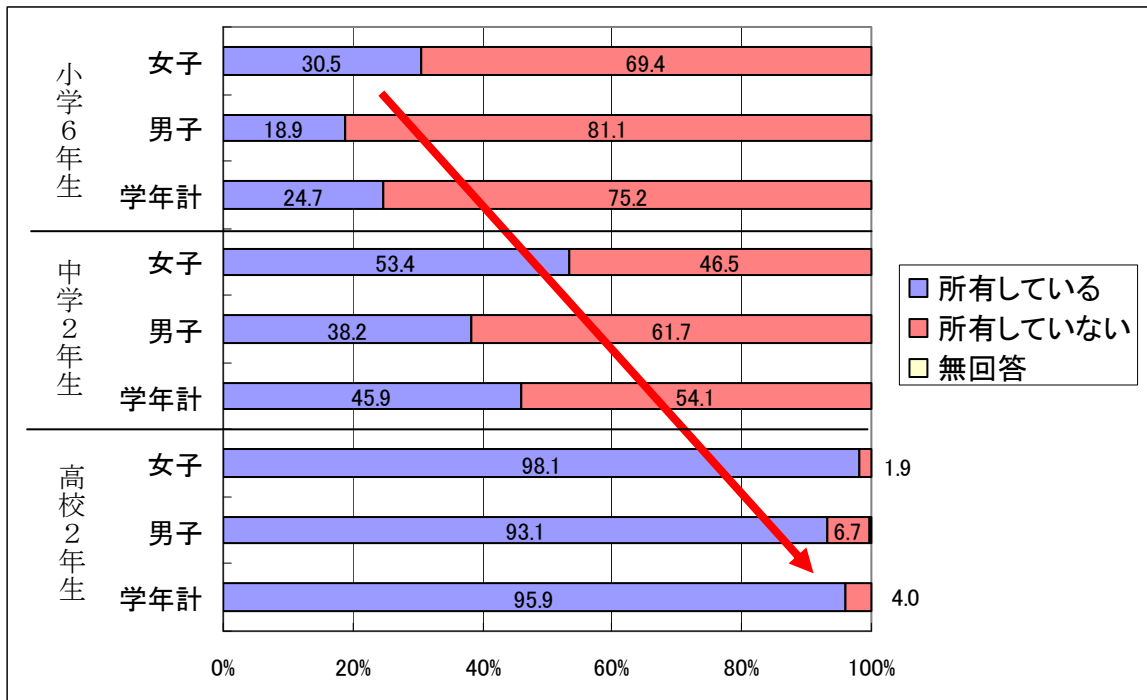


図8 携帯電話のトラブルの経験（子どもの携帯電話等の利用に関する調査（文部科学省：平成20年度調査））

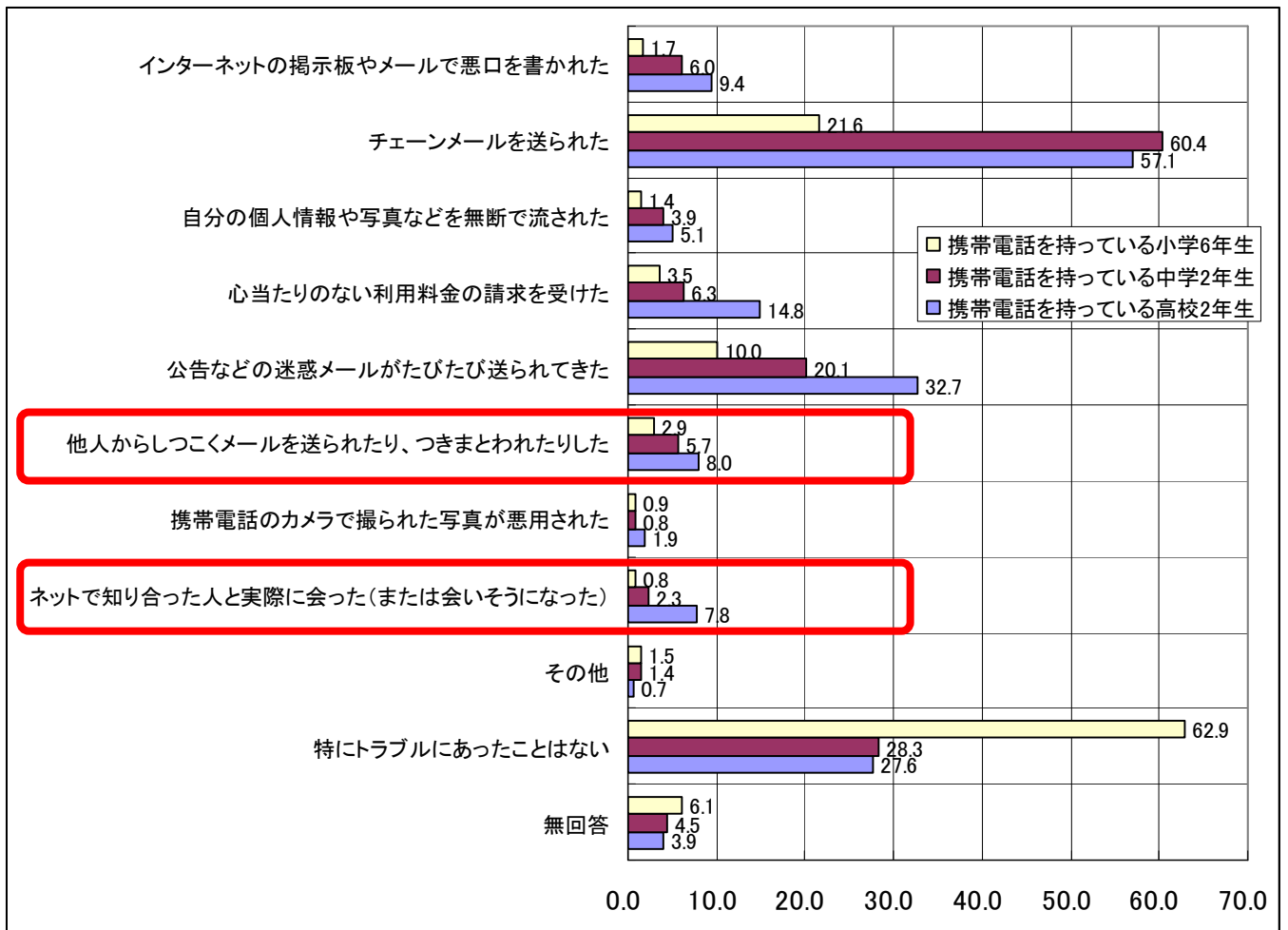


図9 被害児童数の推移（出会い系サイトと出会い系サイト以外）（警察庁調査）

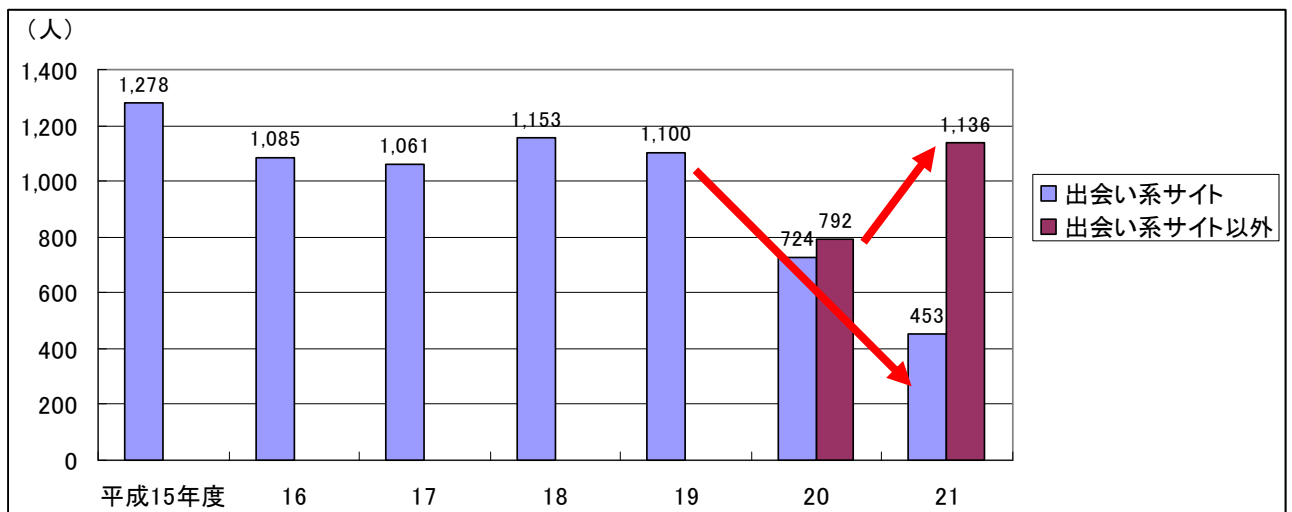


図10 今、子どもの育ちについて危うさを感じていること（愛知県幼児教育研究協議会調査（平成19年度調査））

	保護者		保育者・教師		合計
	幼保等	小学校	幼保等	小学校	全体
体力が弱くなり運動能力が低下している	13.9	15.2	13.4	7.5	12.5
ルールや約束を守ろうとする気持ちが弱くなっている	10.1	12.0	10.2	22.4	13.5
コミュニケーション能力が低下している	14.0	18.4	21.5	19.2	18.1
思いどおりにならないとがまんできない子どもが多くなっている	26.0	24.9	34.1	35.9	30.5
自発的で活気に満ちた遊びが少なくなっている	18.0	17.3	10.1	7.1	13.1
命に対する感覚が鈍くなっている	11.1	7.0	6.1	5.9	7.6
現実と非現実の区別がつかない	4.1	3.0	2.3	1.2	2.6
その他	1.5	1.1	1.6	0.0	1.1
不明・無効回答	1.3	1.1	0.7	0.8	1.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図11 今、子どもの育ちについて危うさを感じていることの要因は何か（愛知県幼児教育研究協議会調査（平成19年度調査））

	要因			全体のうち	
	もっとも気になっていること	次に気になっていること	合計	保護者	教師等
テレビゲームをしたり、ビデオを見たりしていることが多い	23.8	24.7	24.2	26.8	21.8
子どもが自由にできることが減り、制約のある中で生活を送っている	10.7	9.7	10.2	14.0	6.5
過保護か放任のどちらかに偏っている親が増えている	34.0	17.0	25.5	21.0	29.8
友だちやいろいろな人とかかわる機会が減っている	19.6	23.1	21.4	17.3	25.3
ルールのある遊びの体験が少ない	3.9	11.0	7.5	7.9	6.9
食生活が乱れている	1.0	2.9	2.0	1.7	2.2
自然に触れる機会が少ない	3.3	6.9	5.1	6.7	3.5
その他	3.0	4.1	3.5	3.7	3.5
不明・無効回答	0.7	0.6	0.6	0.9	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図12 早期離職の推移（青少年白書（平成21年版）（厚生労働省「新規学校卒業就職者の就職離職状況調査」）

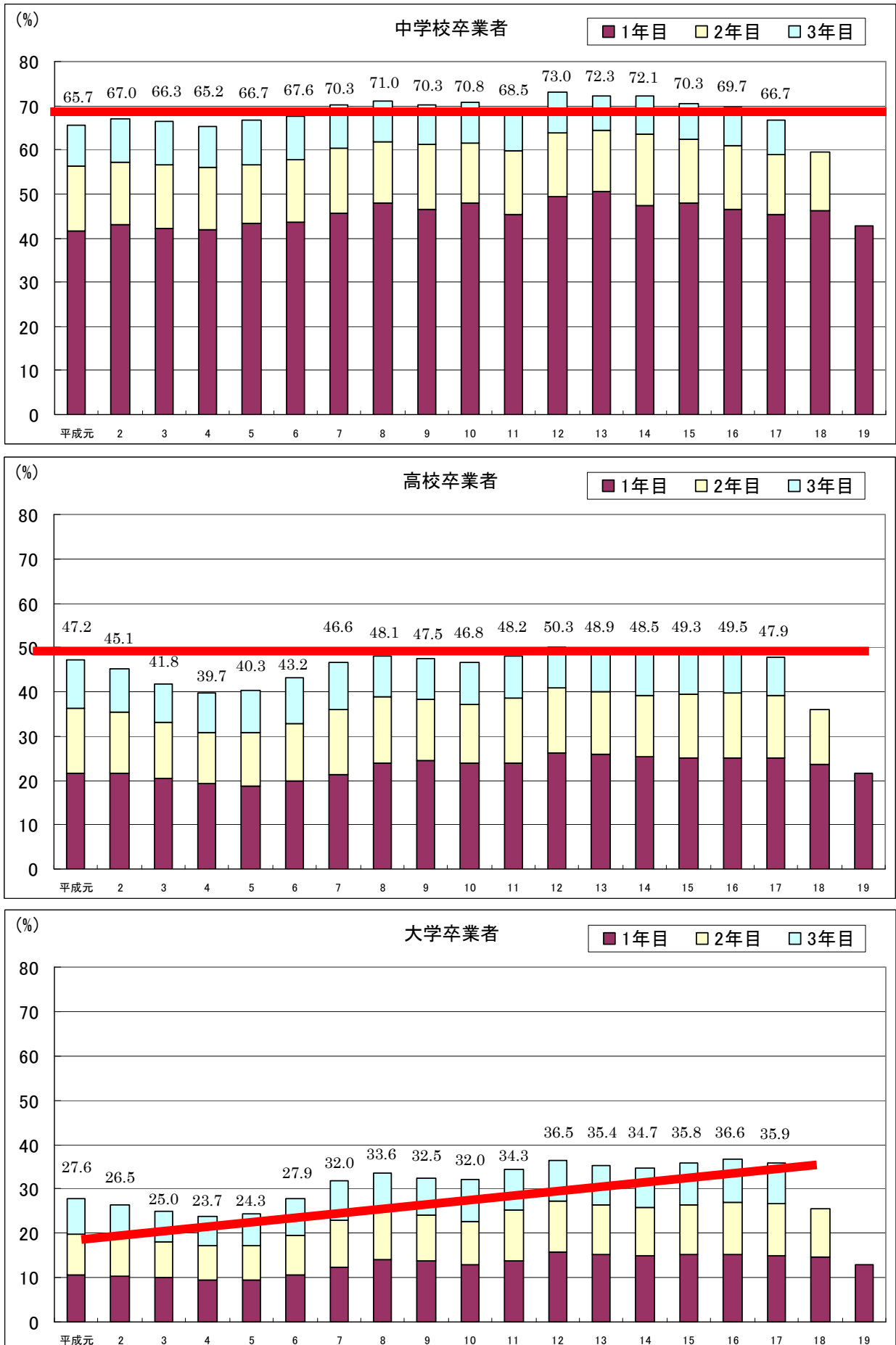
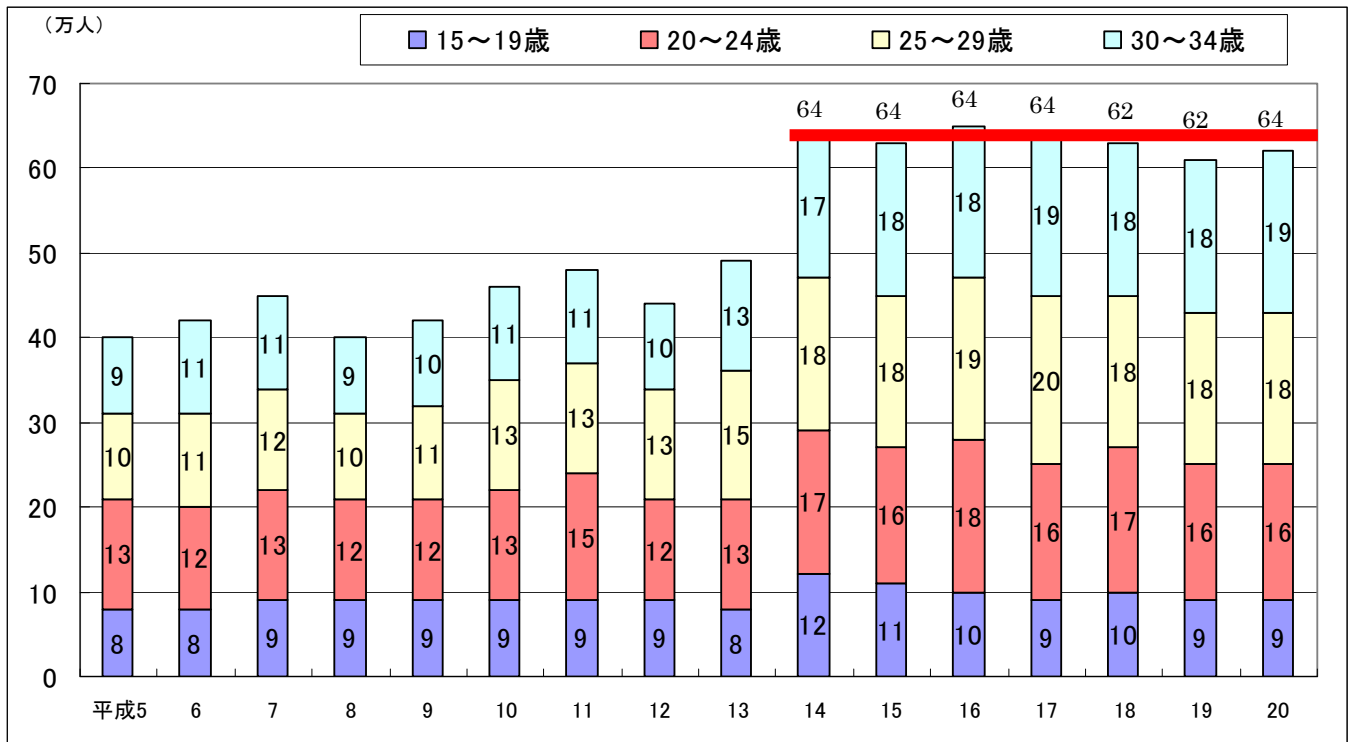


図 1 3 若年無業者数の推移（青少年白書（平成 2 1 年版））（総務省統計局「労働力調査」）



※それぞれの内訳については、千人単位を四捨五入しているため合計と合わない。

図 1 4 正規雇用と非正規雇用の収入格差（青少年白書（平成 2 1 年版））（厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（平成 2 0 年））

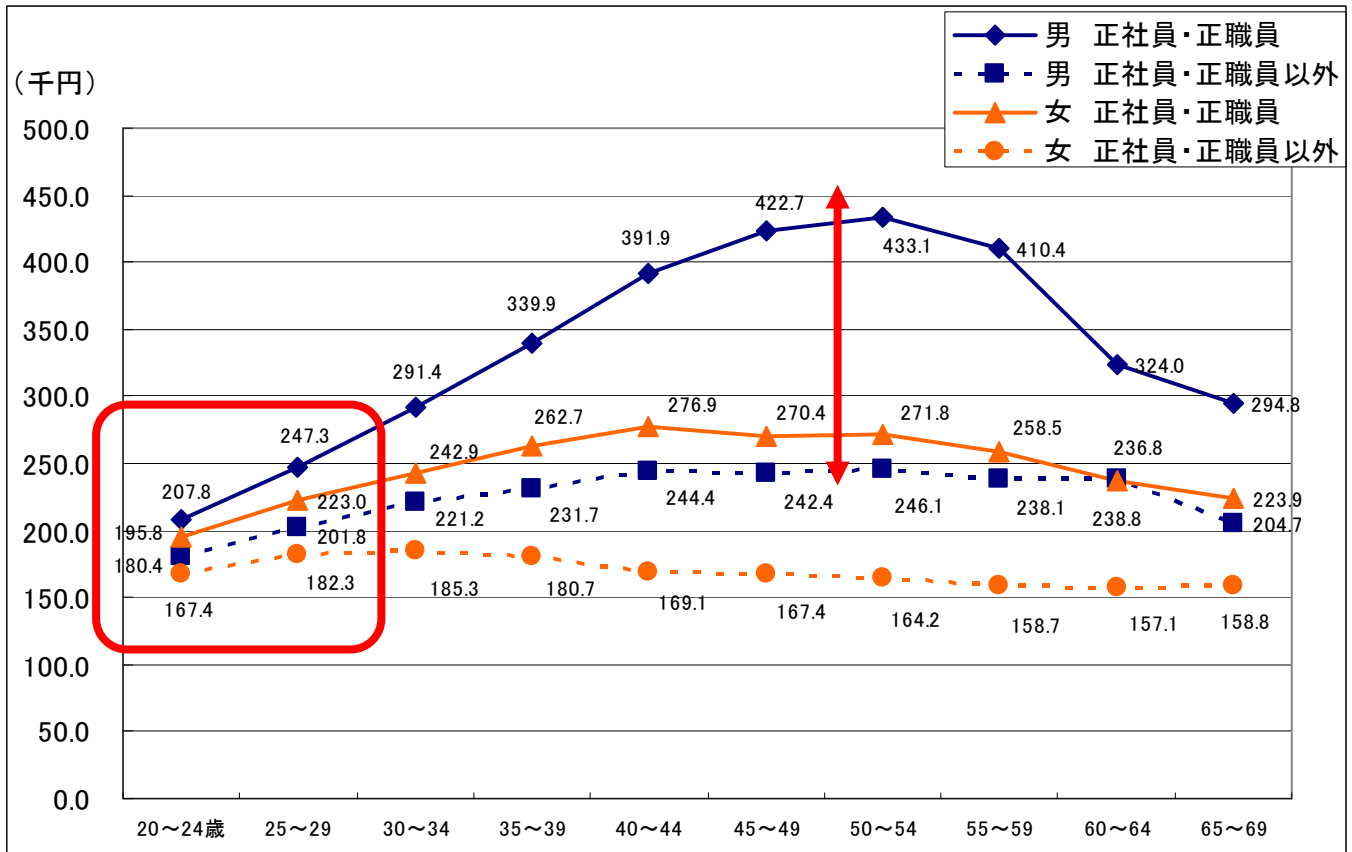


図15 進学率の推移（愛知県）（学校基本調査）

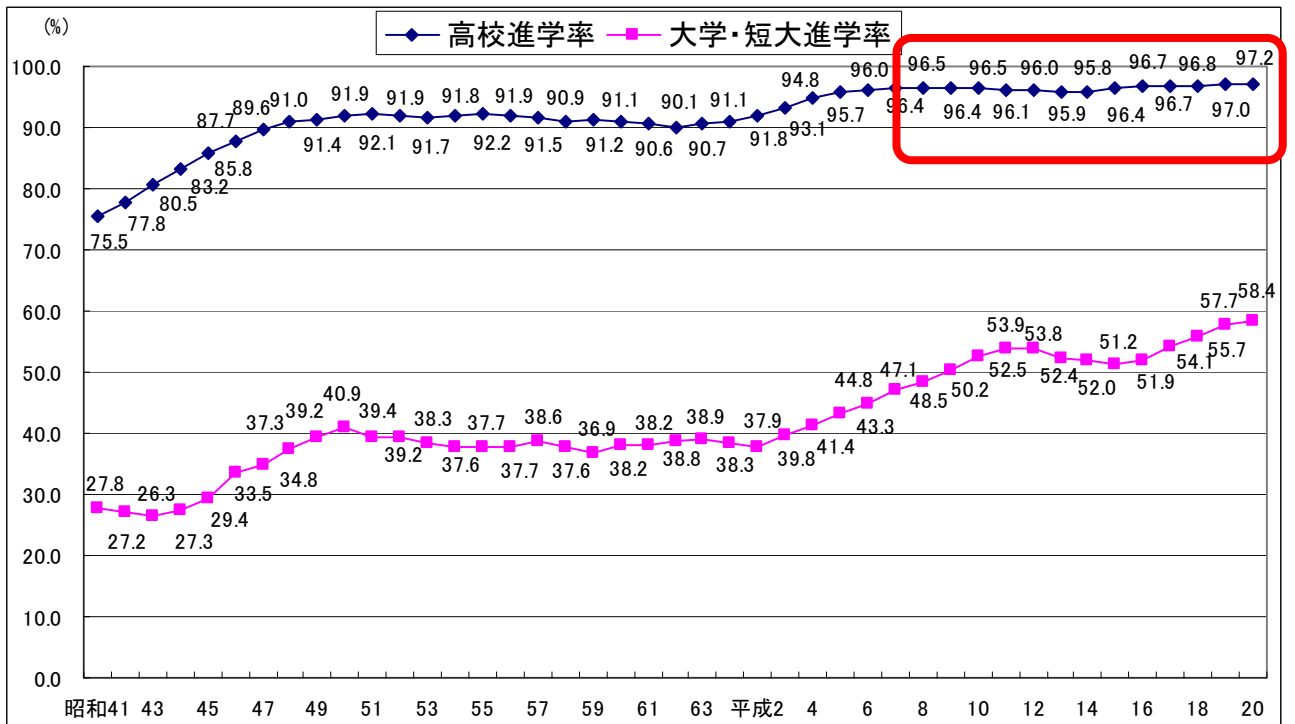


図16 大学・短大の収容力の推移（学校基本調査）

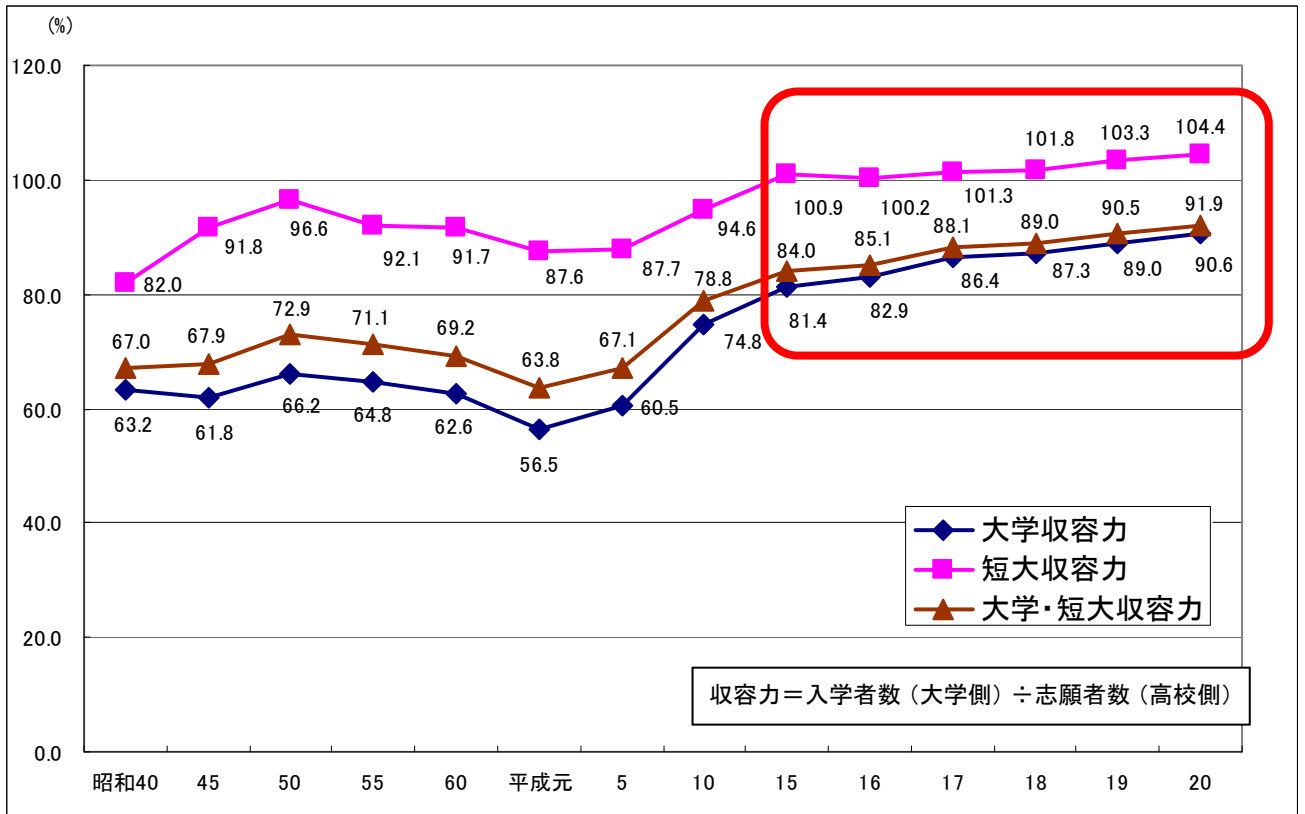


図17 学習と仕事を関連付けて考える者の割合(労働経済白書(平成20年版))((PISA(2006年))

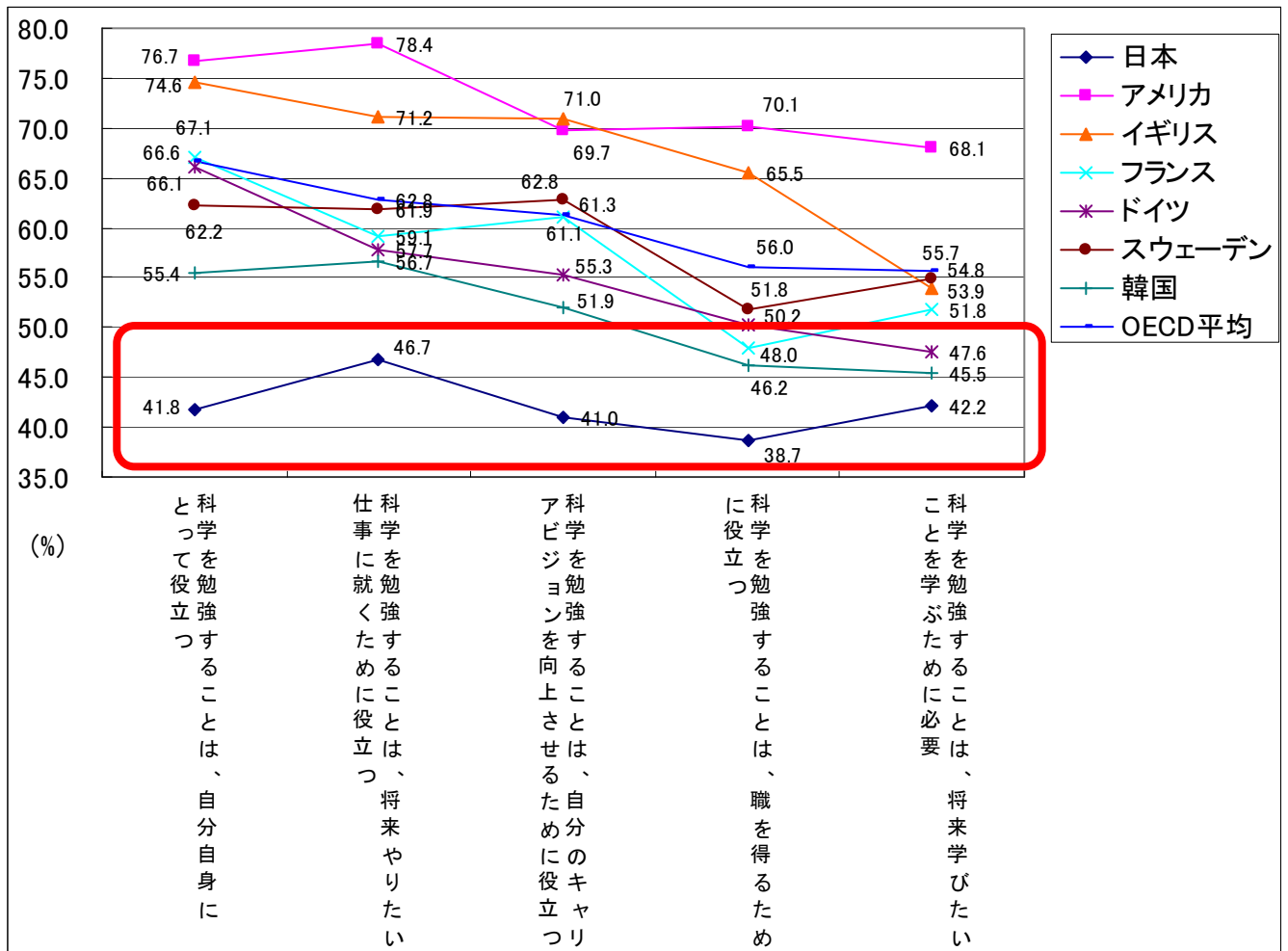


図18 自分が孤独であると回答した15歳の割合(国民生活白書(平成20年版))(UNICEF Innocenti Research Centre「An overview of child well-being in rich countries」(2007年)により作成。2003年に孤独を感じると回答した15歳の学生の割合。)

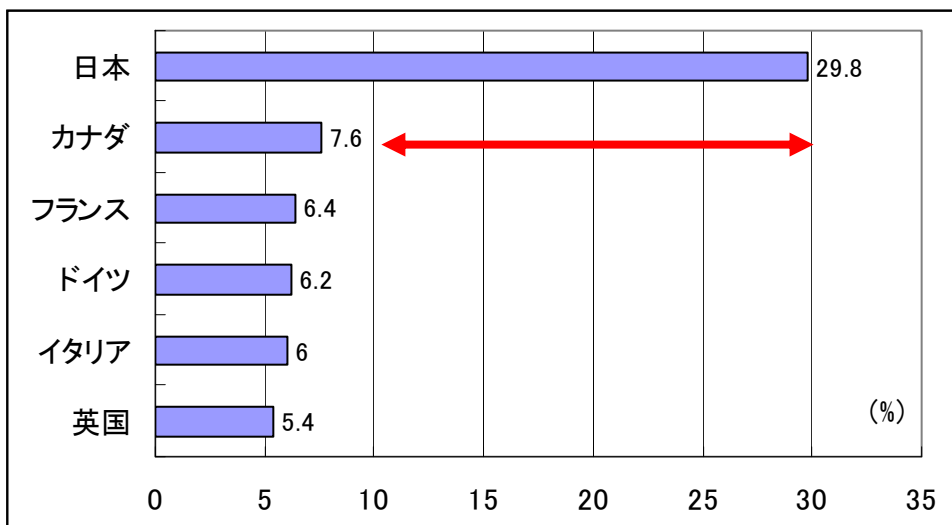
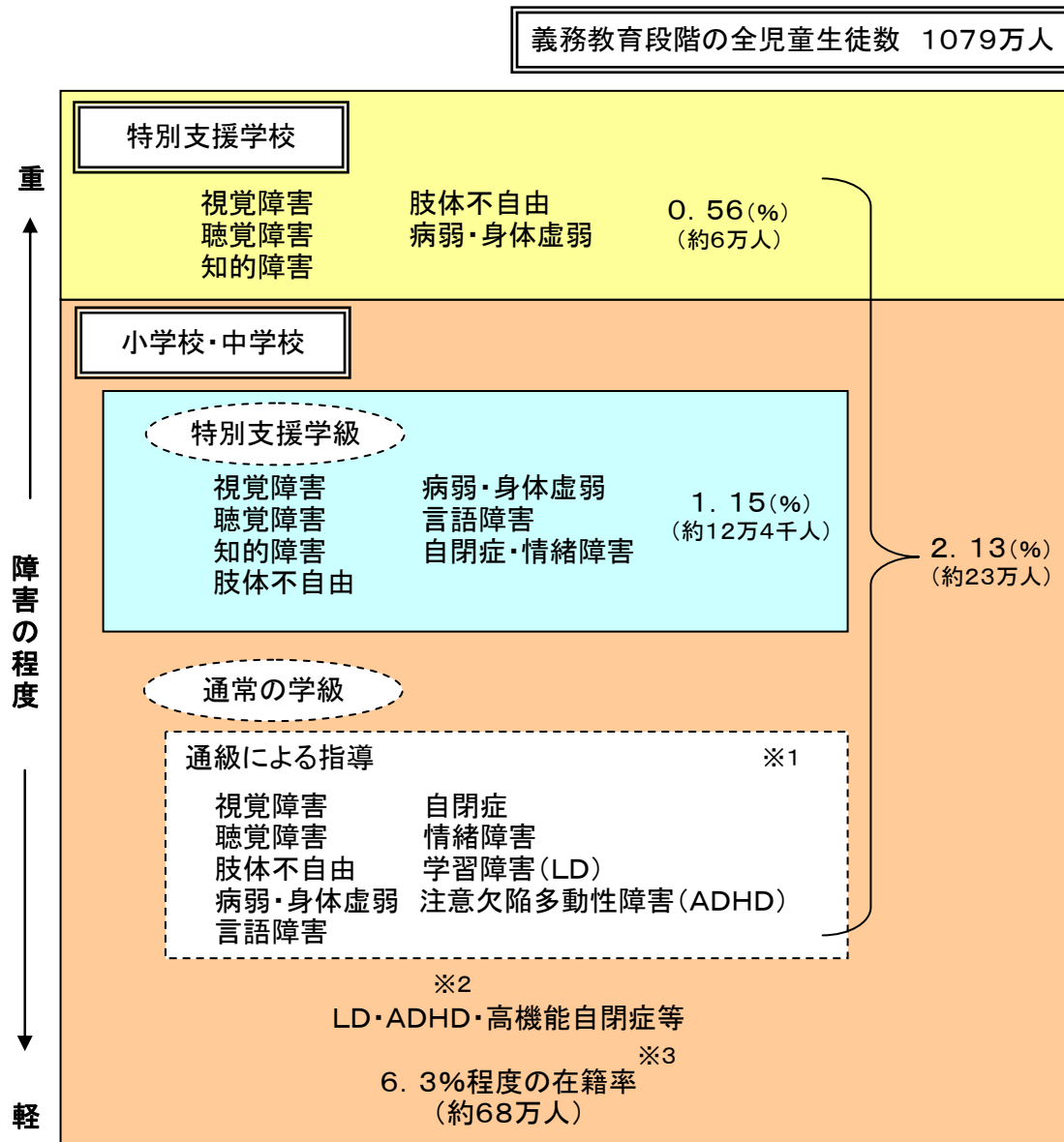


図19 特別支援教育の対象の概念図（義務教育段階）（文部科学省）



※1 平成19年5月1日現在の数値

※2 LD(Learning Disabilities): 学習障害

ADHD(Attention-Deficit / Hyperactivity Disorder): 注意欠陥多動性障害

※3 この数値は、平成14年に文部科学省が行った調査において、学級担任を含む複数の教員により判断された回答に基づくものであり、医師の診断によるものではない。

(※1及び※3を除く数値は平成20年5月1日現在)

図20 中学校特別支援学級卒業者の進路状況の推移（愛知県）（学校基本調査）

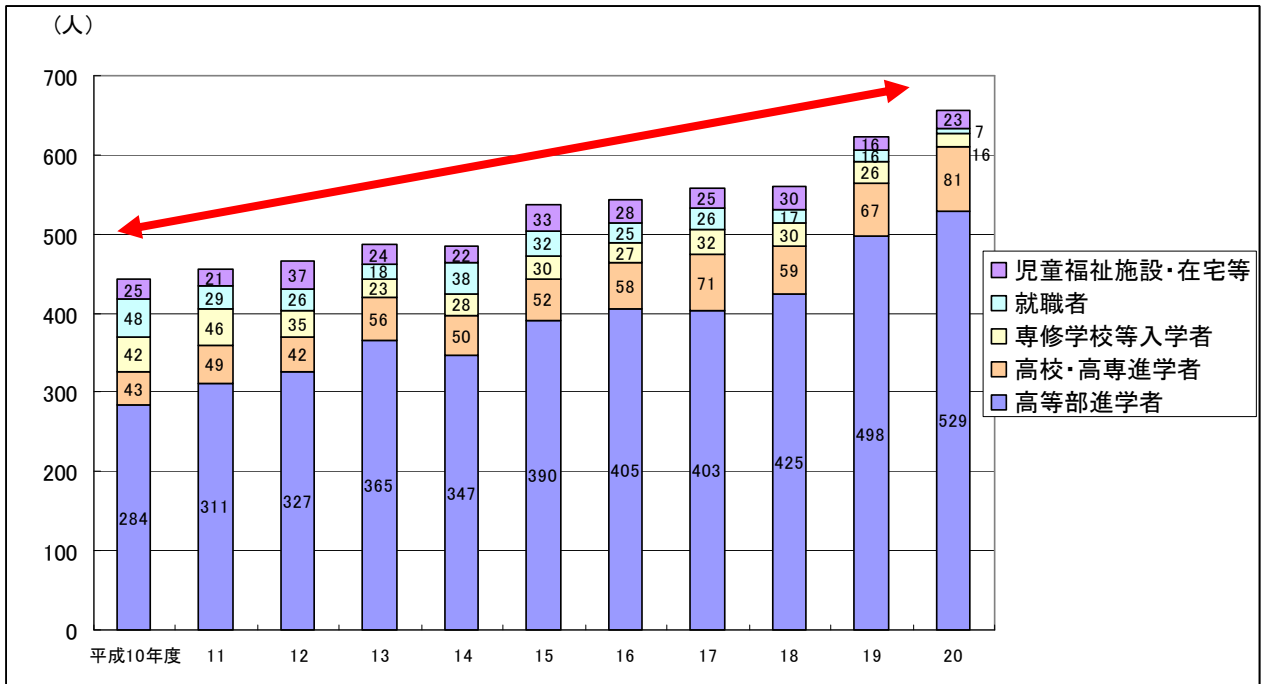


図21 知的障害養護学校の児童生徒数の推移（国公立）（愛知県）（学校基本調査）

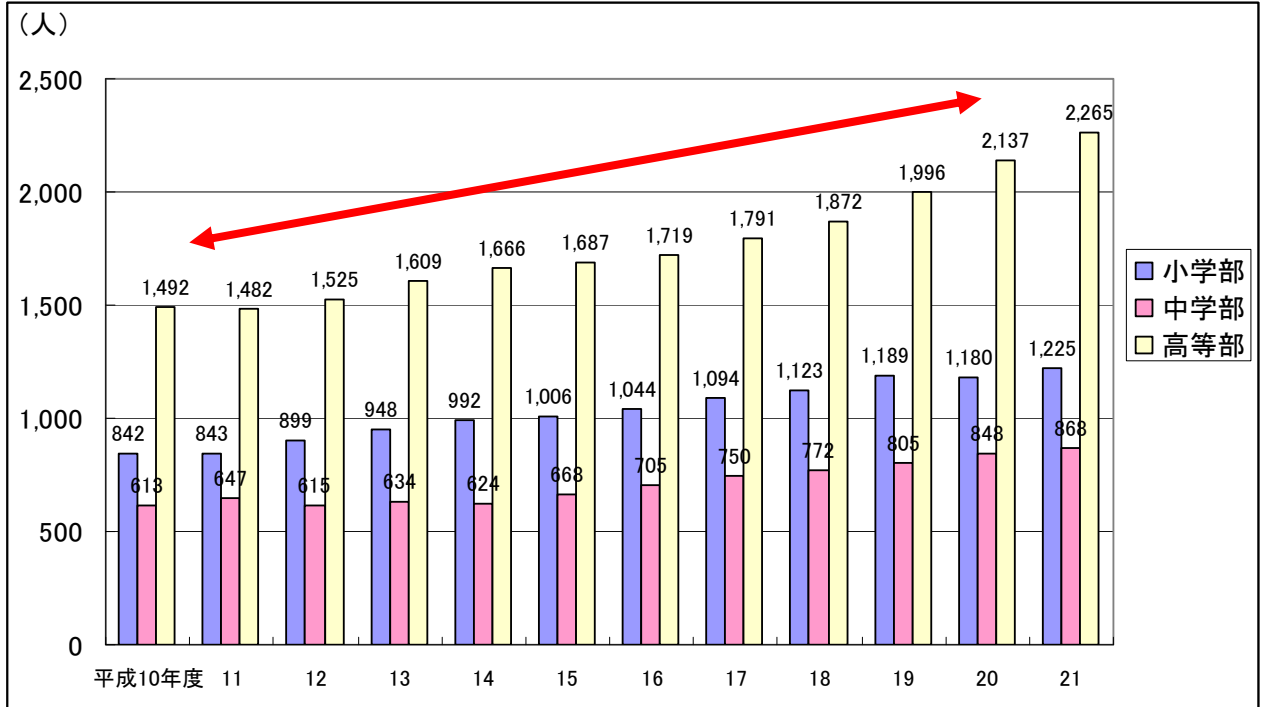


図 2 2 特別支援学校高等部卒業生の進路状況の推移（愛知県）（学校基本調査）

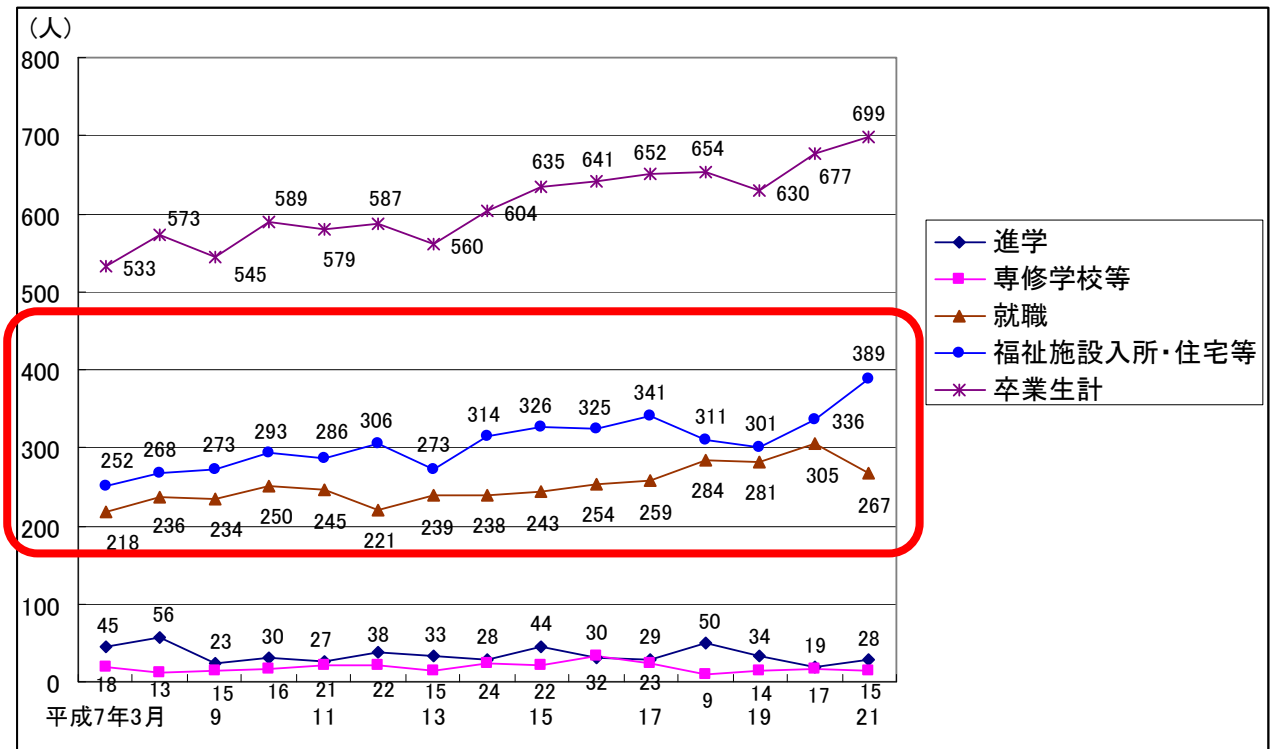


図 2 3 日本語指導が必要な外国人児童生徒数（全国推移）（日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査（文部科学省：平成 20 年度））

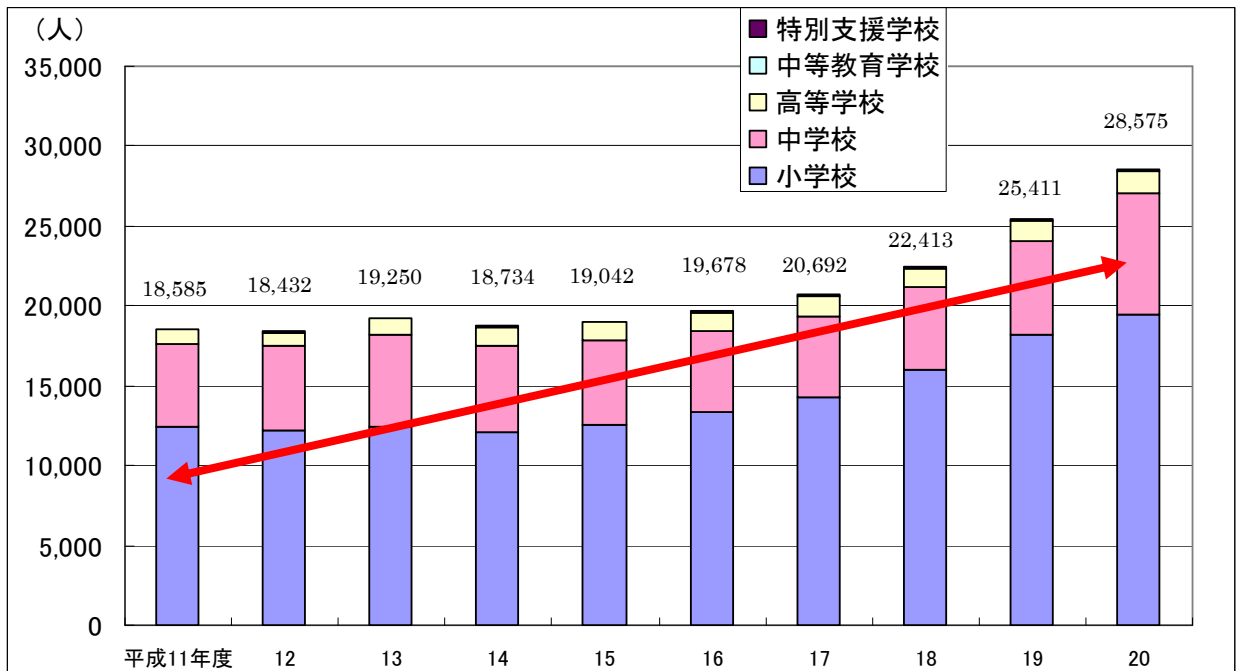


図24 日本語指導が必要な外国人児童生徒数（都道府県別）（日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査（文部科学省：平成20年度））

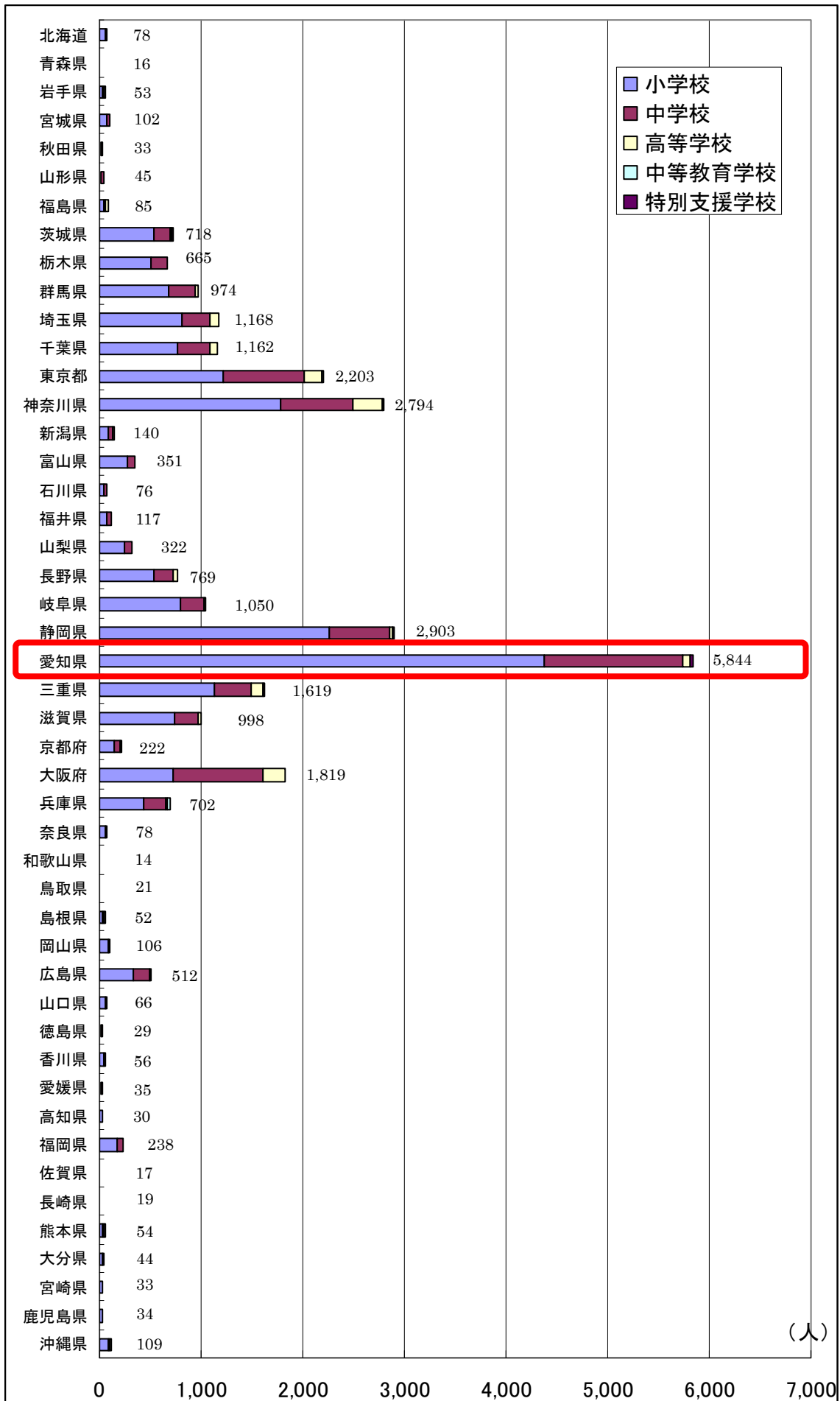


図 25 事由別高校中退者数の推移（児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査）

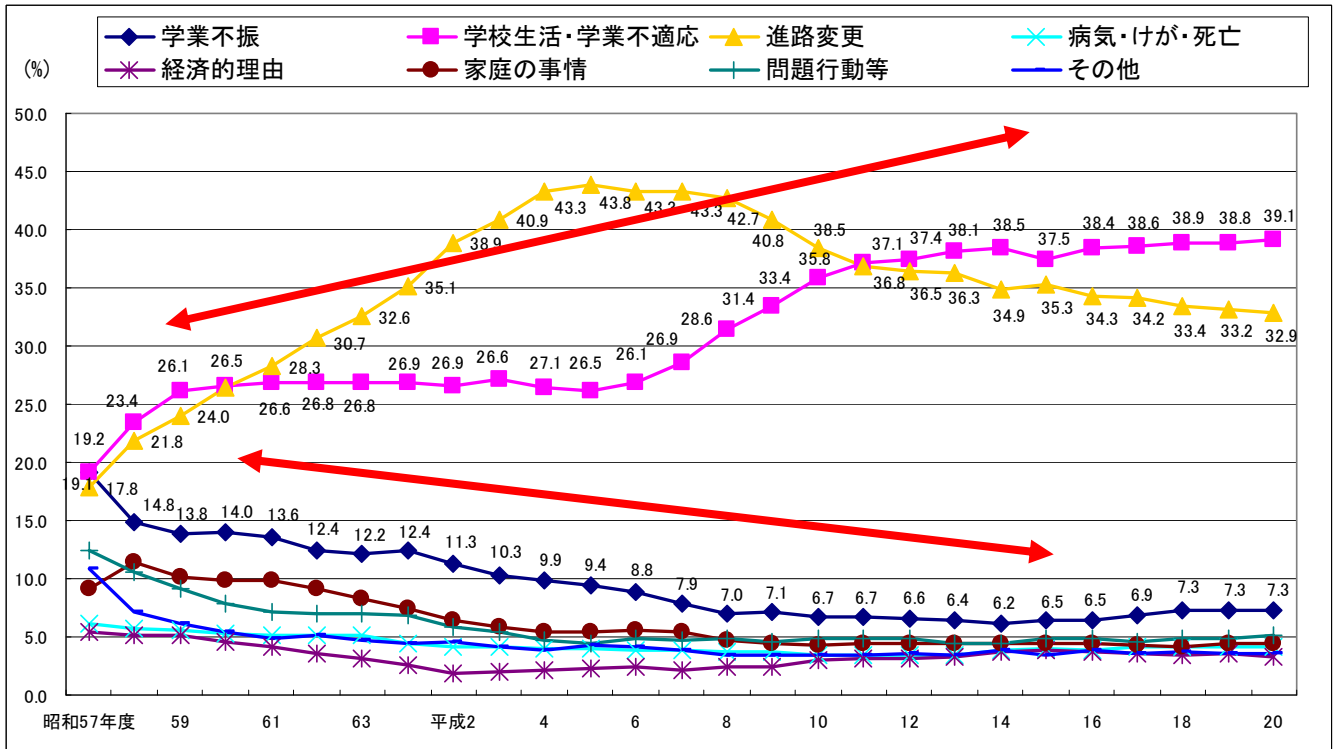


図 26 不登校発生人数・発生率の推移（愛知県・全国比較）

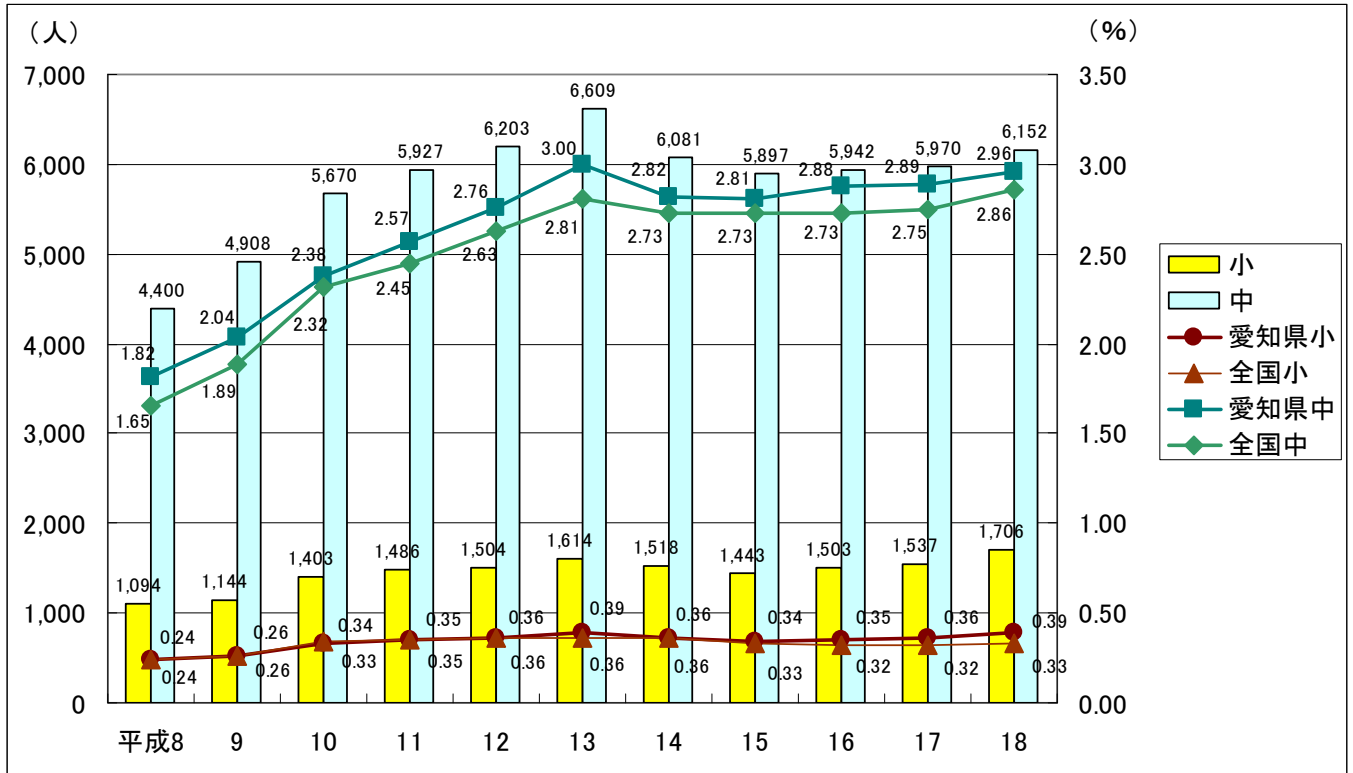


図27 児童虐待の相談対応件数の推移（青少年白書（平成21年版））（厚生労働省「福祉行政報告例」）

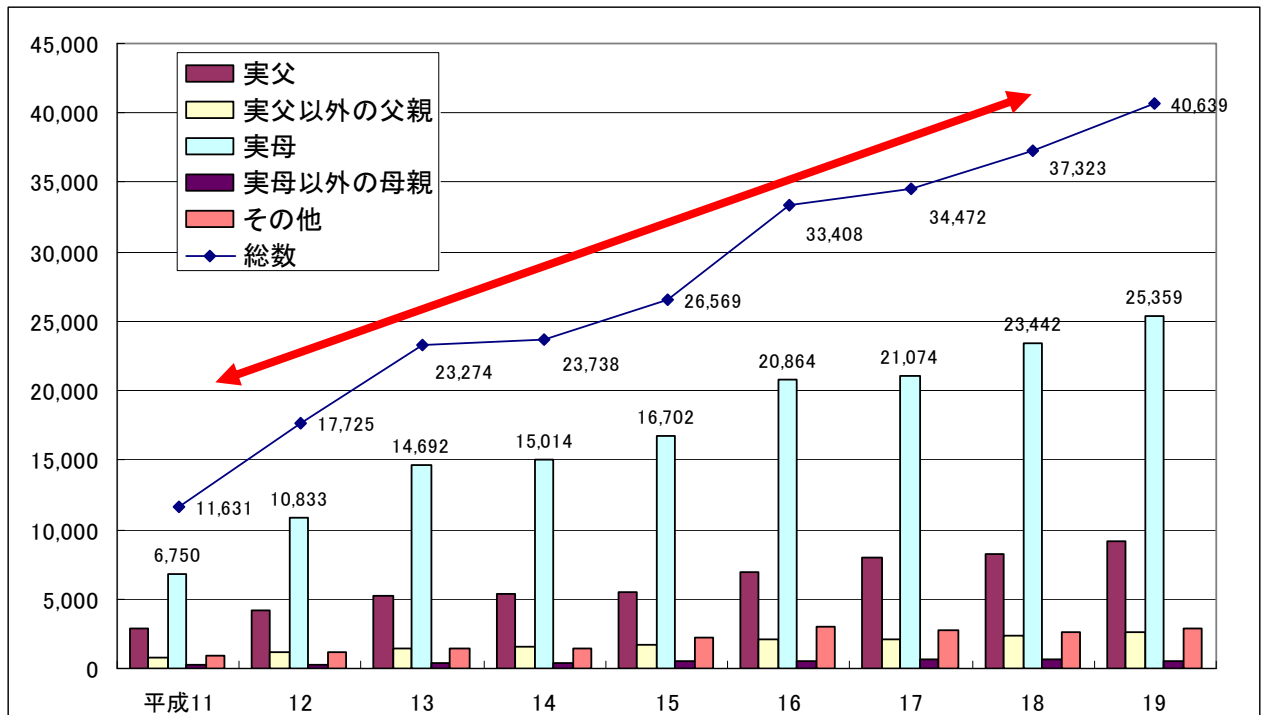
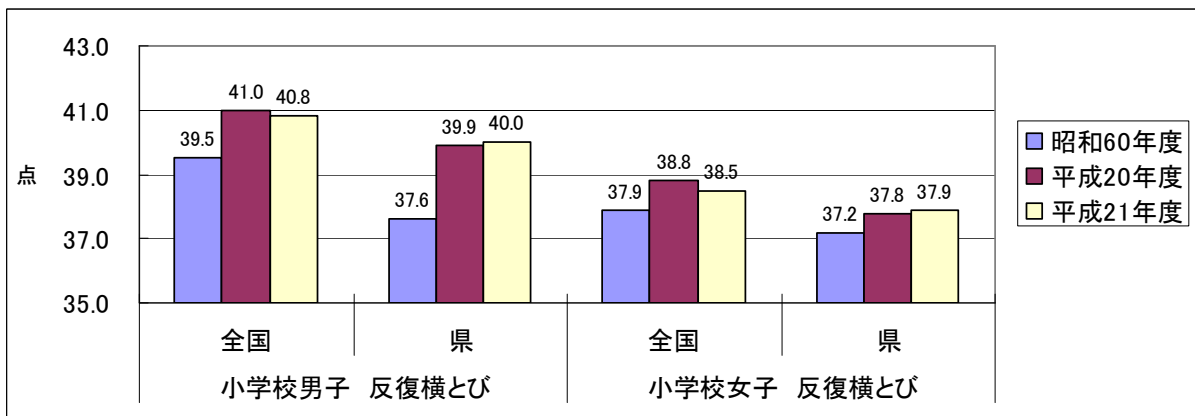
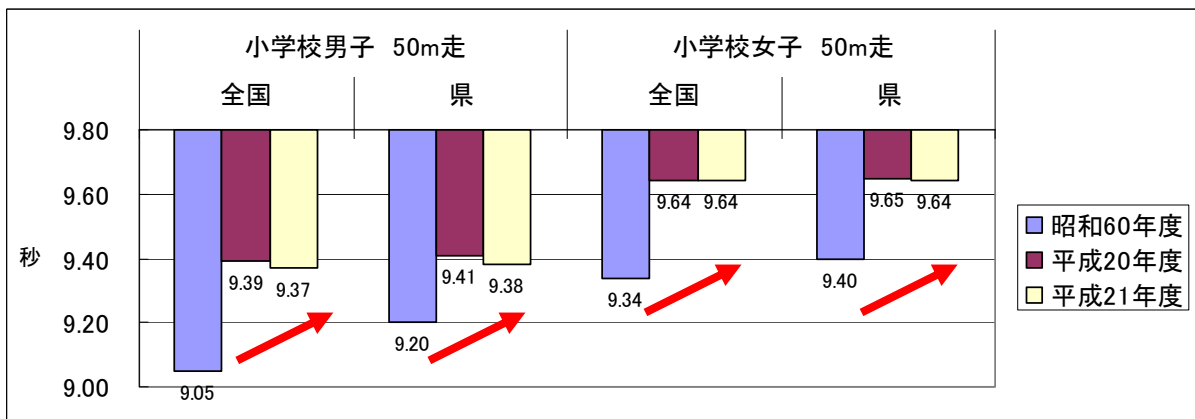
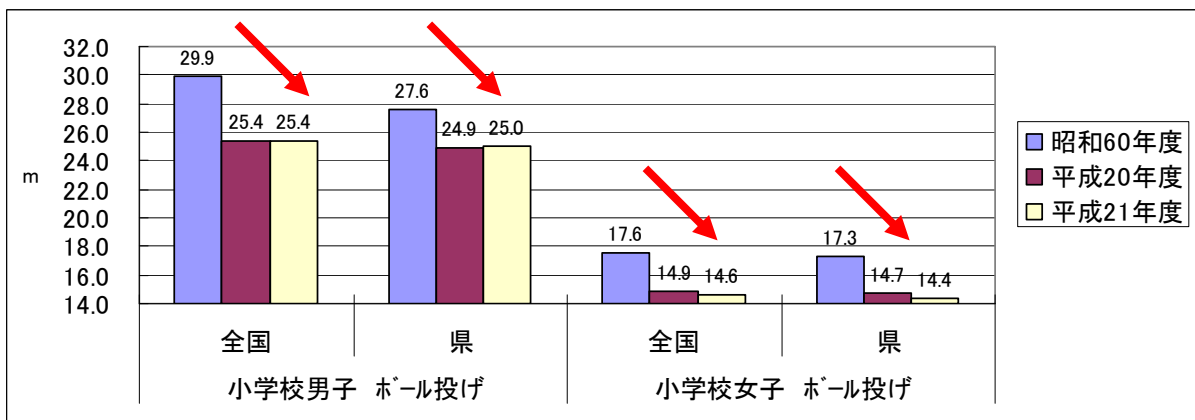
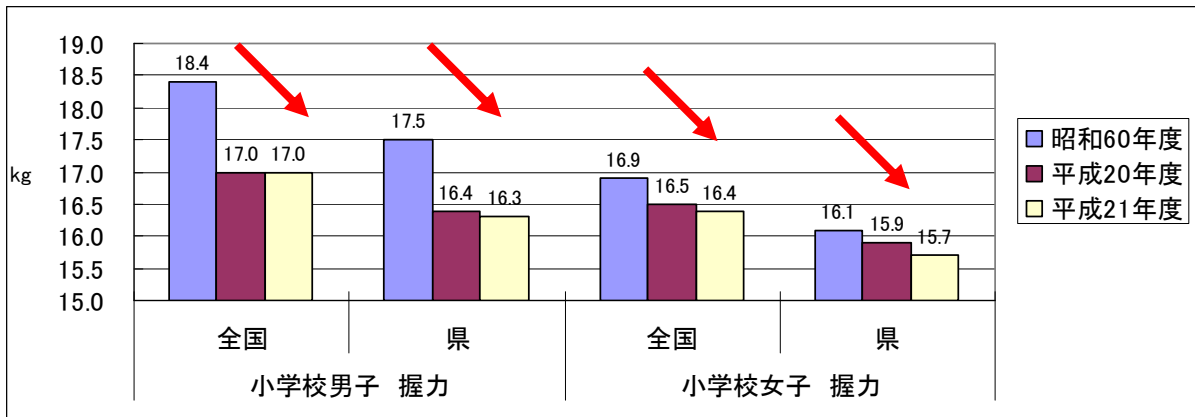


図28 体力状況の推移（文部科学省「全国体力・運動習慣等調査」（愛知県・全国比較））



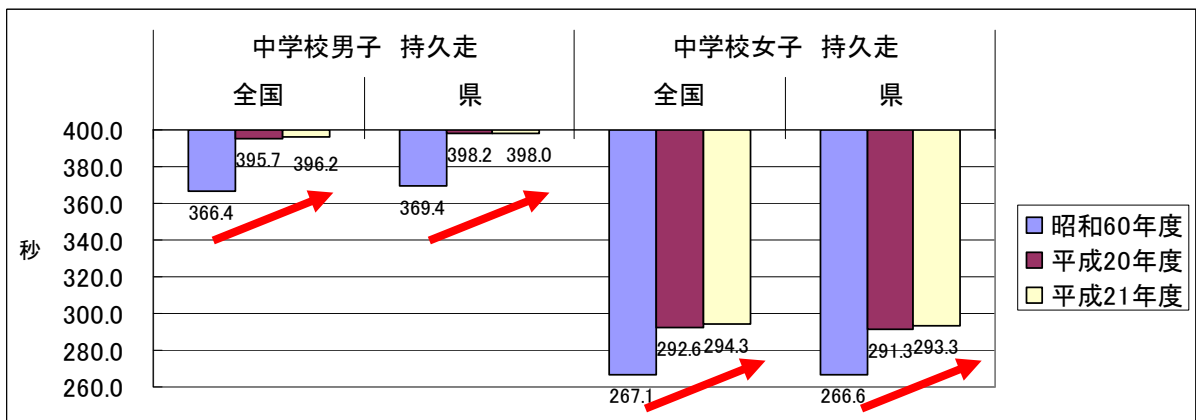
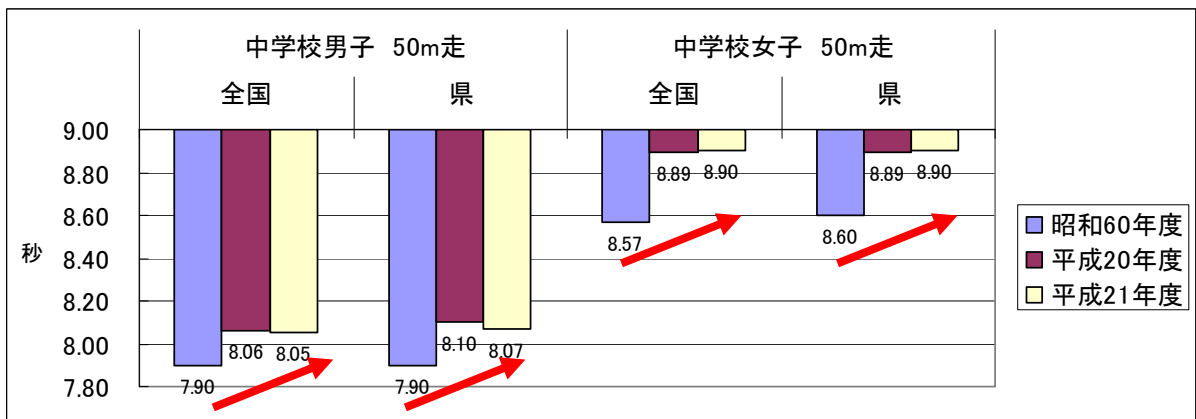
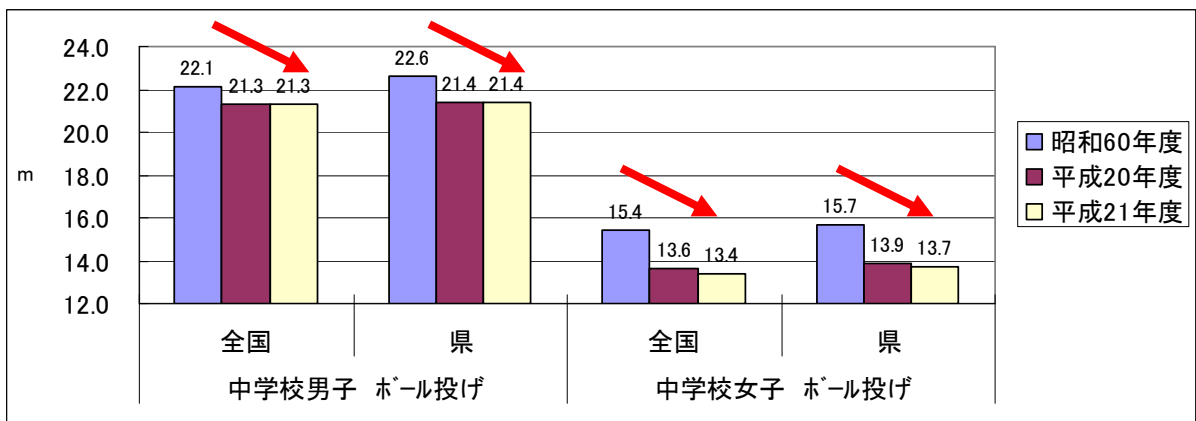
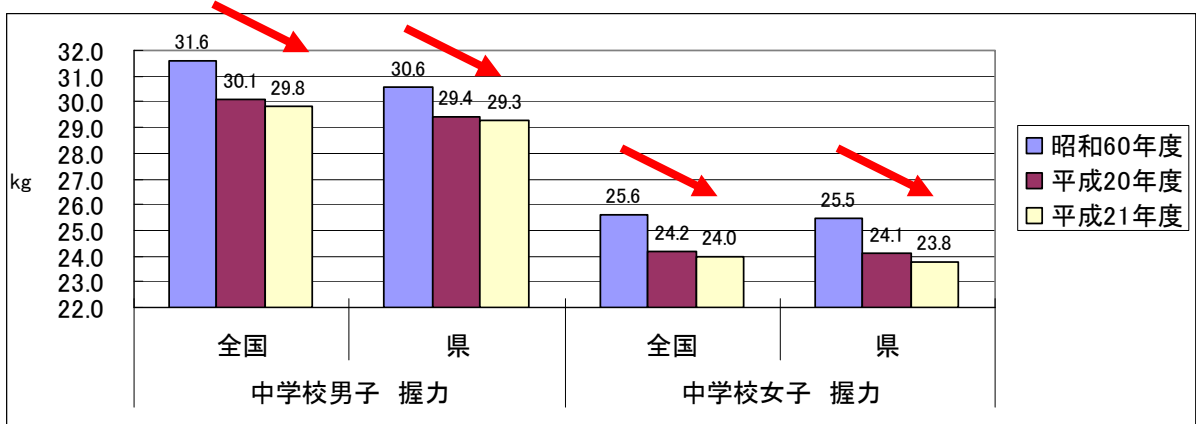


図 2 9 1 週間の総運動時間（文部科学省「全国体力・運動習慣等調査」（平成 2 1 年度：愛知県））

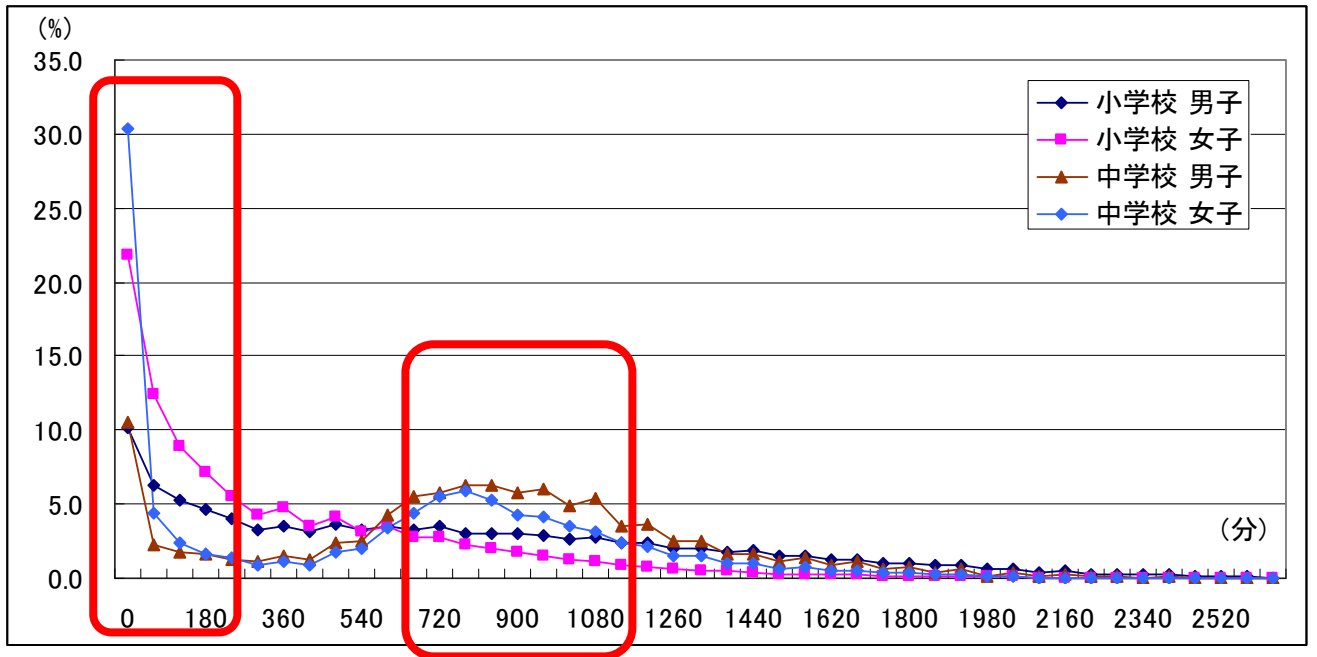


図 3 0 朝食の摂取状況（文部科学省「全国体力・運動習慣等調査」（平成 2 1 年度：愛知県））

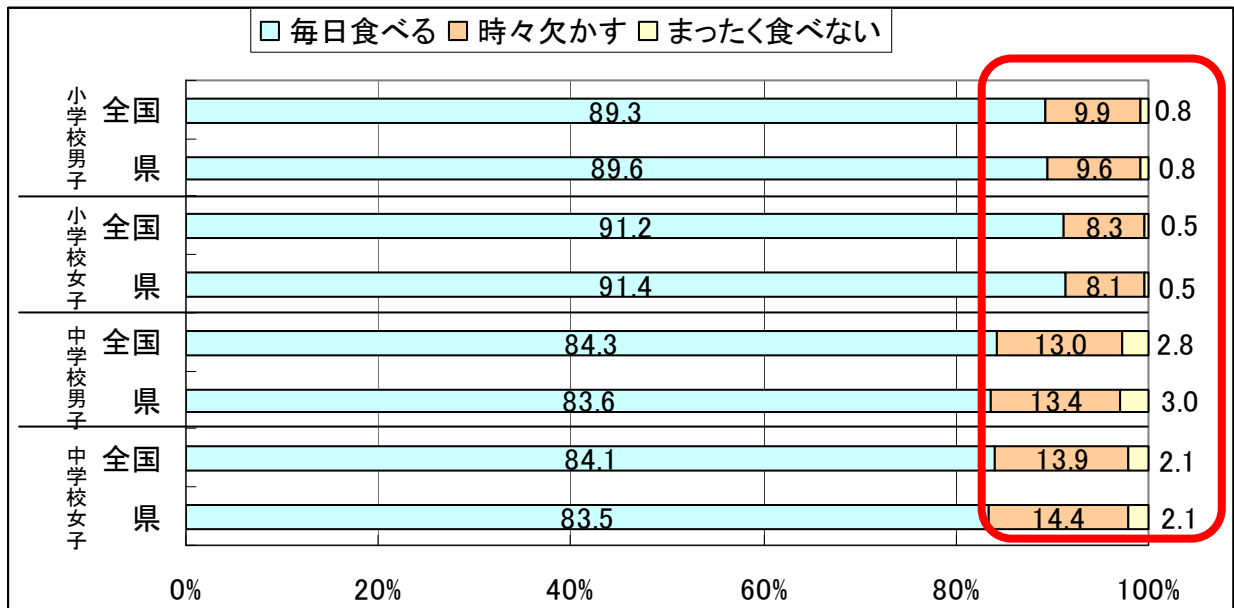


図3 1 1日の睡眠時間（文部科学省「全国体力・運動習慣等調査」（平成21年度：愛知県））

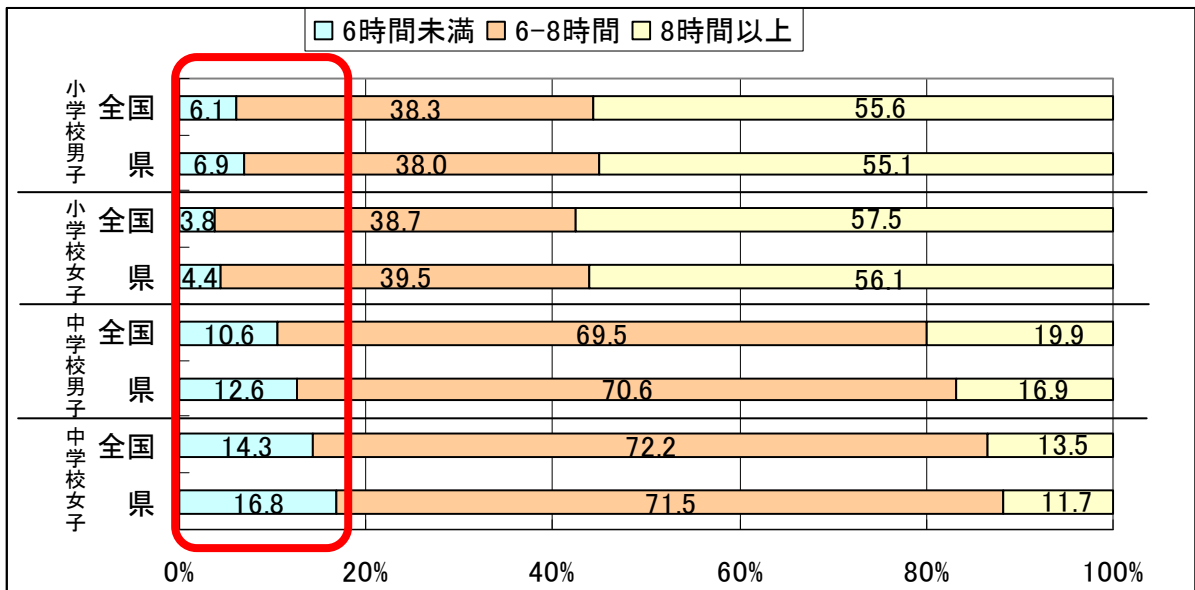


図3 2 1日のテレビ（テレビゲーム含む）視聴時間（文部科学省「全国体力・運動習慣等調査」（平成21年度：愛知県））

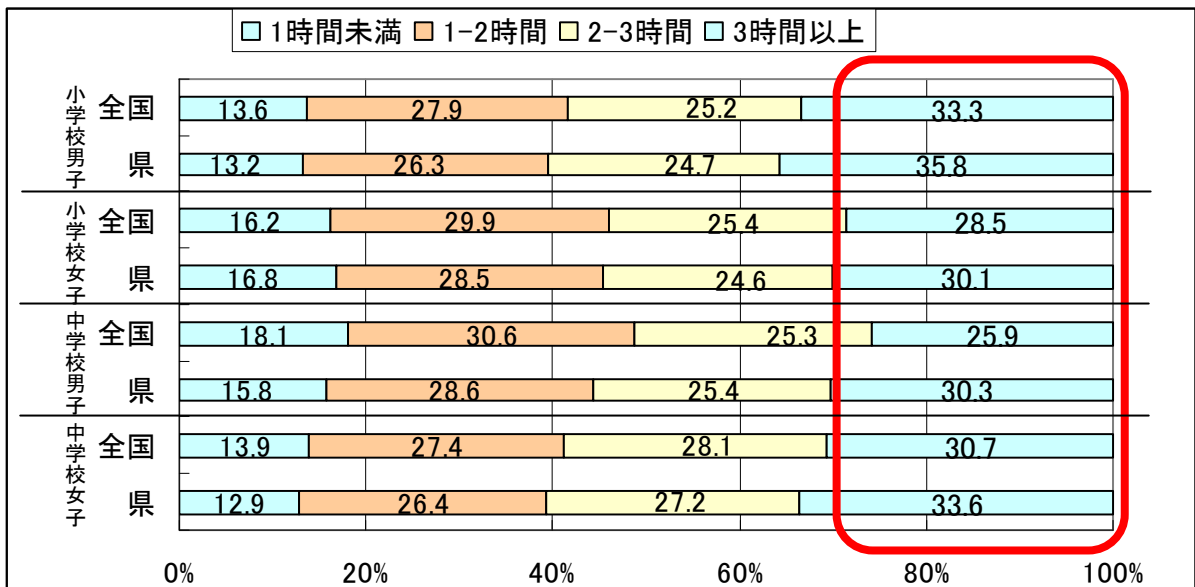


図33 朝食摂取状況と体力合計点の関連（文部科学省「全国体力・運動習慣等調査」（愛知県・全国比較））

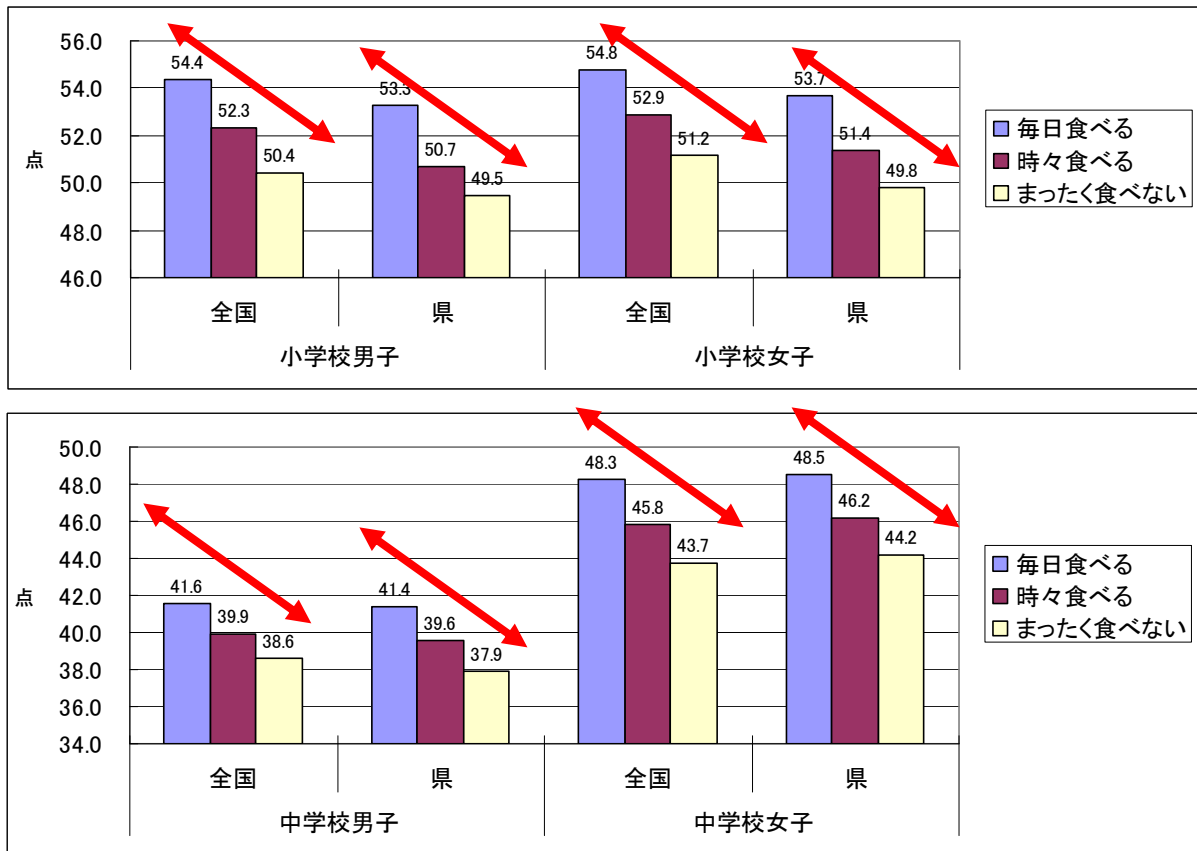


図34 睡眠時間と体力合計点の関連（文部科学省「全国体力・運動習慣等調査」（愛知県・全国比較））

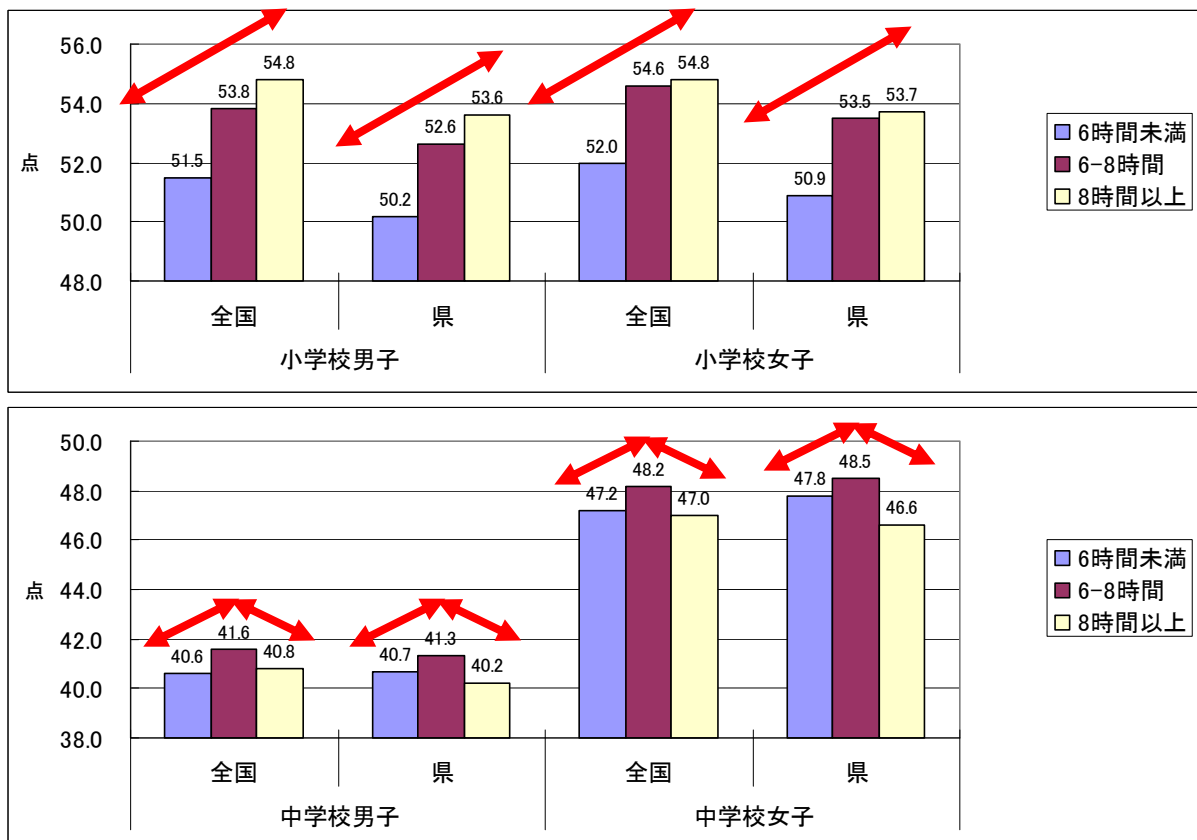


図35 テレビ（テレビゲーム含む）視聴時間と体力合計点の関連（文部科学省「全国体力・運動習慣等調査」（愛知県・全国比較））

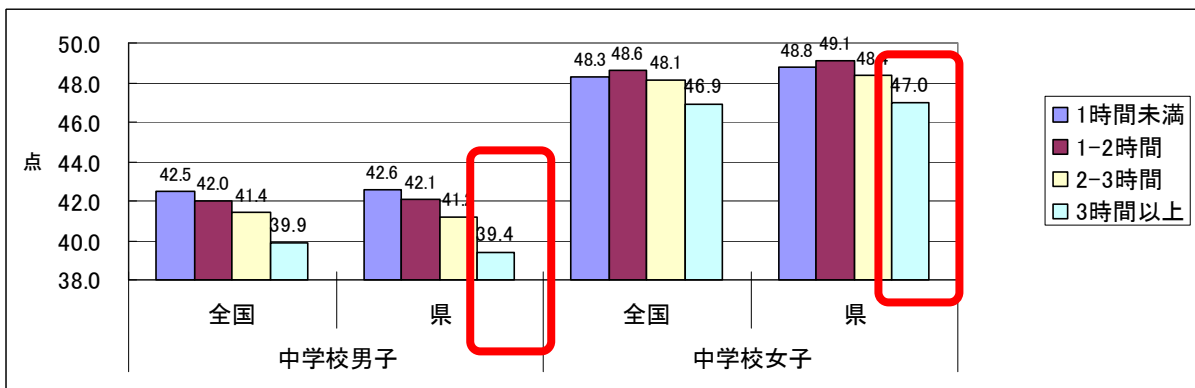
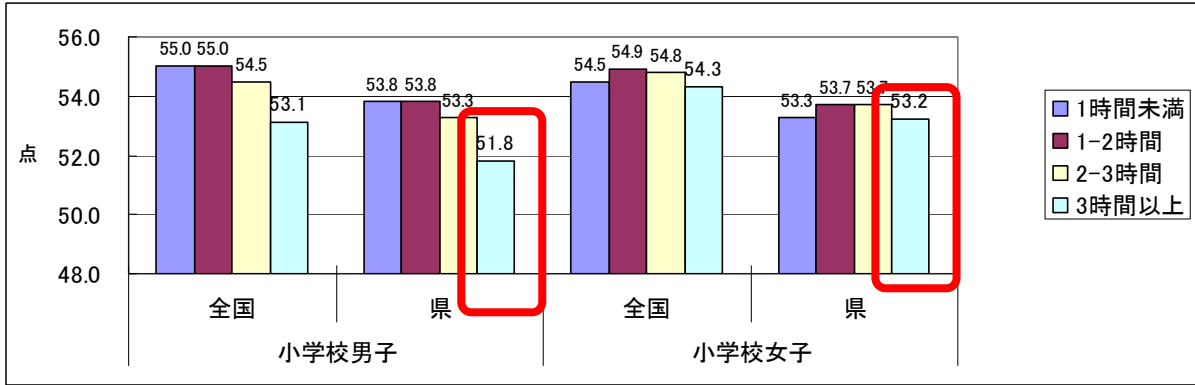


図36 親と一緒に朝食をとっているか（国民生活白書（平成19年版））（文部科学省「義務教育に関する意識調査」（平成17年）回答者は全国の小学校4～6年生、中学校1～3年生の者）

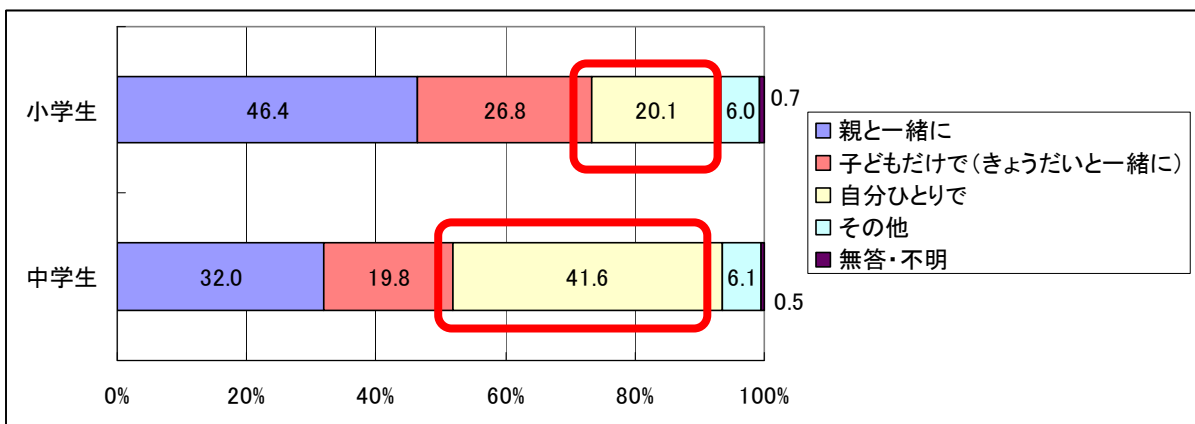


図37 肥満、痩身の割合（文部科学省「全国体力・運動習慣等調査」（愛知県・全国比較））

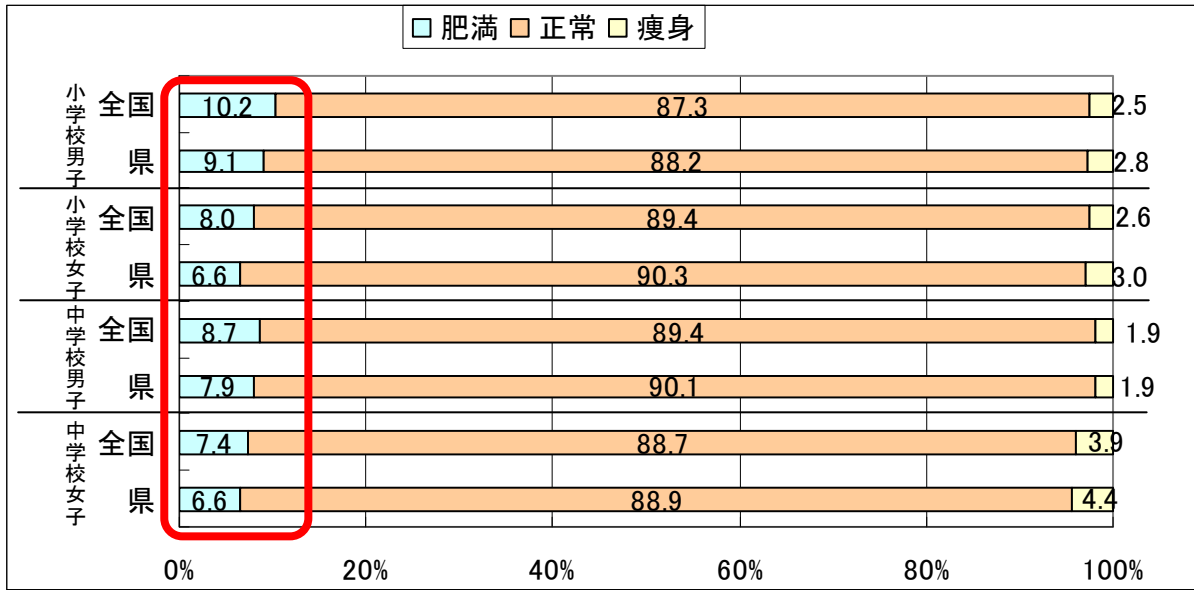


図38 愛知県 国指定・県指定文化財件数（愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室）

平成20年6月9日現在

	有形文化財							無形文化財		民俗文化財	
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	考古資料	歴史資料	芸能	工芸技術	有形	無形
国指定	77	52	43	76	72	3	2	0	0	5	11
県指定	45	97	107	106	38	27	5	1	2	25	43
合計	122	149	150	182	110	30	7	1	2	30	54

	記念物					合計
	史跡	名勝	天然記念物			
			動物	植物	地鉱	
国指定	35	5	7	16	3	407
県指定	45	5	5	49	5	605
合計	80	10	12	65	8	1,012

図39 この1年間の美術館・博物館での鑑賞経験（内閣府「文化に関する世論調査」（平成21年11月））

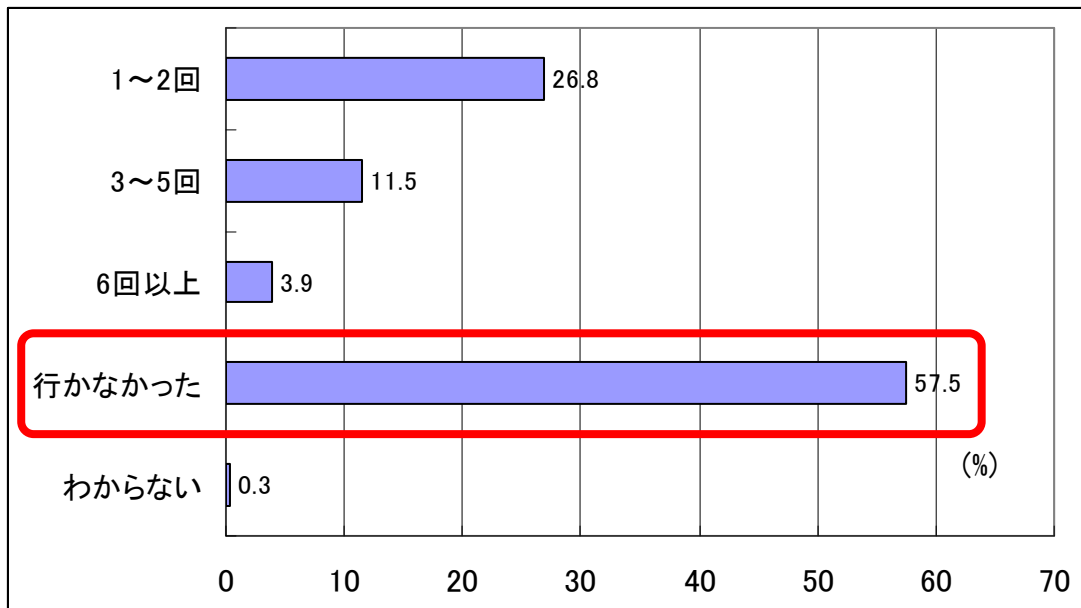


図40 この一年間での鑑賞を除く文化芸術の活動経験（複数回答）（内閣府「文化に関する世論調査」（平成21年11月））

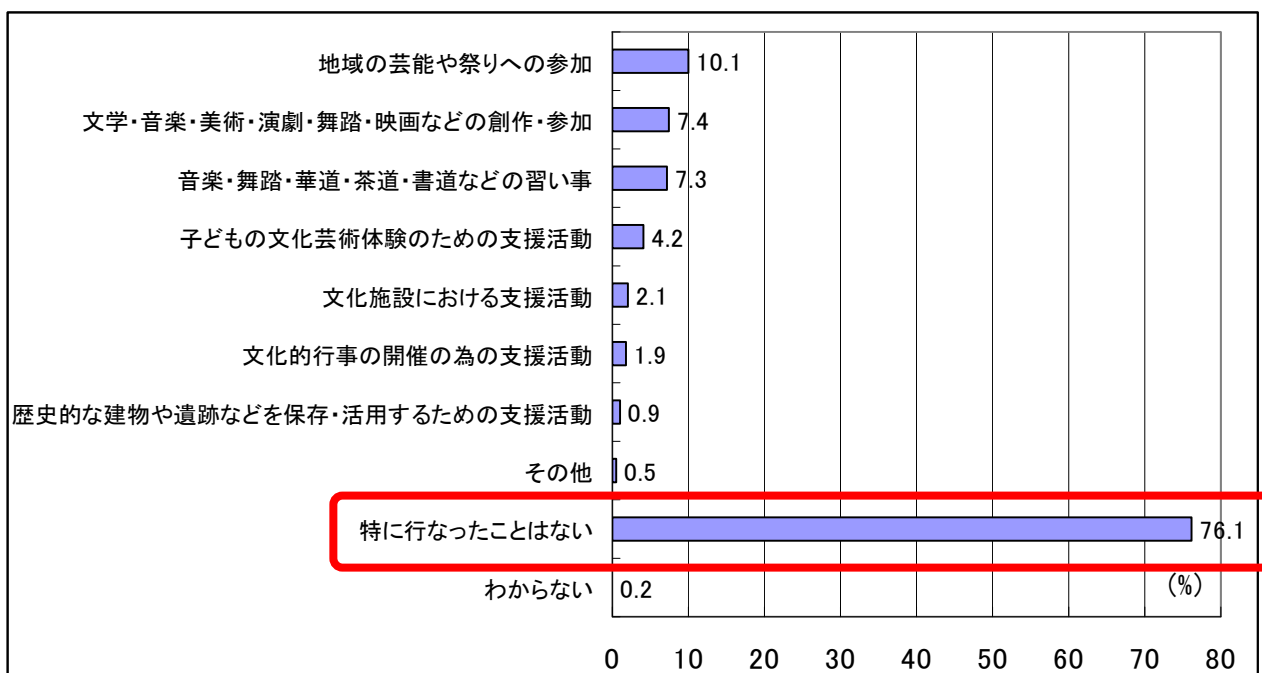


図4-1 科学のリテラシー平均得点の国際比較（PISA（2006年））

順位	科学のリテラシー全体	得点	「科学的な疑問を認識すること」領域	得点	「現象を科学的に説明すること」領域	得点	「科学的証拠を用いること」領域	得点
1	フィンランド	563	フィンランド	555	フィンランド	566	フィンランド	567
2	香港	542	ニュージーランド	536	香港	549	日本	544
3	カナダ	534	オーストラリア	535	台湾	545	香港	542
4	台湾	532	オランダ	533	エストニア	541	カナダ	542
5	エストニア	531	カナダ	532	カナダ	531	韓国	538
6	日本	531	香港	528	チェコ	527	ニュージーランド	537
7	ニュージーランド	530	リヒテンシュタイン	522	日本	527	リヒテンシュタイン	535
8	オーストラリア	527	日本	522	スロベニア	523	台湾	532
9	オランダ	525	韓国	519	ニュージーランド	522	オーストラリア	531
10	リヒテンシュタイン	522	スロベニア	517	オランダ	522	エストニア	531
11	韓国	522	アイルランド	516	オーストラリア	520	オランダ	526
12	スロベニア	519	エストニア	516	マカオ	520	スイス	519
13	ドイツ	516	ベルギー	515	ドイツ	519	スロベニア	516
14	イギリス	515	スイス	515	ハンガリー	518	ベルギー	516
15	チェコ	513	イギリス	514	イギリス	517	ドイツ	515
16	スイス	512	ドイツ	510	オーストリア	516	イギリス	514
17	マカオ	511	台湾	509	リヒテンシュタイン	516	マカオ	512
18	オーストリア	511	オーストリア	505	韓国	512	フランス	511
19	ベルギー	510	チェコ	500	スウェーデン	510	アイルランド	506
20	アイルランド	508	フランス	499	スイス	508	オーストリア	505
21	ハンガリー	504	スウェーデン	499	ポーランド	506	チェコ	501
22	スウェーデン	503	アイスランド	494	アイルランド	505	ハンガリー	497
23	ポーランド	498	クロアチア	494	ベルギー	503	スウェーデン	496
24	デンマーク	496	デンマーク	493	デンマーク	501	ポーランド	494
25	フランス	495	アメリカ	492	スロバキア	501	ルクセンブルグ	492
26	クロアチア	493	マカオ	490	ノルウェー	495	アイスランド	491
27	アイスランド	491	ノルウェー	489	リトアニア	494	ラトビア	491
28	ラトビア	490	スペイン	489	クロアチア	492	クロアチア	490
29	アメリカ	489	ラトビア	489	スペイン	490	デンマーク	489
30	スロバキア	488	ポルトガル	486	アイスランド	488	アメリカ	489
31	スペイン	488	ポーランド	483	ラトビア	486	リトアニア	487
32	リトアニア	488	ルクセンブルグ	483	アメリカ	486	スペイン	485
33	ノルウェー	487	ハンガリー	483	ロシア	483	ロシア	481
34	ルクセンブルグ	486	リトアニア	476	ルクセンブルグ	483	スロバキア	478
35	ロシア	479	スロバキア	475	フランス	481	ノルウェー	473
36	イタリア	475	イタリア	474	イタリア	480	ポルトガル	472
37	ポルトガル	474	ギリシャ	469	ギリシャ	476	イタリア	467
38	ギリシャ	473	ロシア	463	ポルトガル	469	ギリシャ	465
39	イスラエル	454	イスラエル	457	ブルガリア	444	イスラエル	460
40	チリ	438	チリ	444	イスラエル	443	チリ	440
41	セルビア	436	セルビア	431	セルビア	441	ウルグアイ	429
42	ブルガリア	434	ウルグアイ	429	ヨルダン	438	セルビア	425
43	ウルグアイ	428	トルコ	427	チリ	432	タイ	423
44	トルコ	424	ブルガリア	427	ルーマニア	426	トルコ	417
45	ヨルダン	422	メキシコ	421	トルコ	423	ブルガリア	417
46	タイ	421	タイ	413	ウルグアイ	423	ルーマニア	407
47	ルーマニア	418	ルーマニア	409	タイ	420	モンテネグロ	407
48	モンテネグロ	412	ヨルダン	409	モンテネグロ	417	ヨルダン	405
49	メキシコ	410	コロンビア	402	アゼルバイジャン	412	メキシコ	402
50	インドネシア	393	モンテネグロ	401	メキシコ	406	インドネシア	386
51	アルゼンチン	391	ブラジル	398	インドネシア	395	アルゼンチン	385
52	ブラジル	390	アルゼンチン	395	ブラジル	390	コロンビア	383
53	コロンビア	388	インドネシア	393	アルゼンチン	386	チュニジア	382
54	チュニジア	386	チュニジア	384	チュニジア	383	ブラジル	378
55	アゼルバイジャン	382	アゼルバイジャン	353	コロンビア	379	アゼルバイジャン	344
56	カタール	349	カタール	352	カタール	356	カタール	324
57	キルギス	322	キルギス	321	キルギス	334	キルギス	288

図4-2 低炭素社会を実現させるべきか（県政モニターアンケート「地球温暖化（気候変動）対策」（愛知県環境部）平成21年11月調査）

